

平成26年度

国立大学法人

鳴門教育大学概要

Profile of Naruto University of Education 2014

目 次

Table of Contents

創設の趣旨・目的	Mission and Vision 1
沿 革 2	Chronicle 3
運営・教育研究組織 4	Administrative Academic Organization 4
役 職 員 6	Executives and Directors 6
役員・職員数10	The Number of Executives and Staff 10
教 育 部12	School 13
附属図書館14	University Library 14
教職キャリア支援センター 16	Center for Educational Career Development 16
長期履修学生支援センター16	Center for Long-Term Study Student Support 16
地域連携センター17	Center for Collaboration in Community 17
情報基盤センター17	Center for Information Technology Services 17
予防教育科学センター18	Center for the Science of Prevention Education 18
小学校英語教育センター 19	Center for English Language Education at Elementary Schools 19
教員教育国際協力センター 20	International Cooperation Center for the Teacher Education and Training 20
心身健康センター21	Center for Health and Counseling Services 21
附属学校22	University Attached Schools 22
教育課程24	Academic Programs 25
学 生 数26	The Number of Students 26
大学院修了者数30	The Number of Graduates from the Graduate School 30
学部卒業者数31	The Number of Graduates from the Undergraduate Programs 31
平成26年度地域別入学状況32	The Number of Matriculated Students by Areas in 2014 32
平成25年度就職状況33	Employment of Graduates in Academic Year of 2012 33
収入支出予算額34	Revenue and Expenditure 34
科学研究費助成事業(平成26年度) 34	Grants-in-Aid for Scientific Research (2014) 34
土地・建物等35	Land and Buildings 35
国際交流36	International Exchange Programs 36
施 設 開 放37	Open Facilities 37
福利厚生施設37	University Hall and Dormitories 37
建物配置38	Pictorial Overview and Campus Map 38
位 置 図40	Location 40
所 在 地41	Address of University and Attached Schools 41
TOPICS42	TOPICS 42
AROUND UNIVERSITY44	AROUND UNIVERSITY 44



鳴門教育大学学章

上部はNarutoのNを、下部はUniversityのUを表しています。 上部は鳴門の島々を、下部は動的な海を表しています。 3つに分かれた各部分が、職員、学部生、院生を意味し、一体となっている様を表しています。

The Symbol of Naruto University of Education

The upper part represents N of Naruto and the lower part represents U of University.

The upper part symbolizes the islands of Naruto and the lower part the dynamic sea.

Each of the three blocks of the symbol signifies the faculty, the undergraduate students, and the graduate students respectively, and the symbol as a whole represents the unity of those three.



創設の趣旨・目的

教員には,教育者としての使命感と人間愛に支えられた豊かな教養,教育の理念と方法及び人間性に対する多面的な深い理解並びに教科・領域に関する専門的学力,優れた教育技術など,専門職としての高度の資質能力が強く求められている。

本学は、このような社会的要請に基づき、主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と、初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部をもち、学校教育に関する理論的、実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として昭和56年10月1日に創設された新しい構想の国立大学であり、以後社会の要請に応えるべく教育研究の充実に取り組んできた。

平成20年度から、今日の学校と教育を巡る状況を踏まえ、養成すべき教員像を明確にし、専門性と実践力を備えた力量のある教員を養成することとし、新たに専門職学位課程(高度学校教育実践専攻)を教職大学院として設置した。

大学院学校教育研究科「修士課程」において、教科・領域等における専門性を培い、優れた教育実践を展開できる能力を、「専門職学位課程」では、幅広い視点からの問題分析力・対応力・解決力を培い、学校や地域で指導力を発揮できる力量を、それぞれ有する初等中等教育教員を養成することを目的としている。

また、「学校教育学部」においては、幼児・児童・生徒の成長と発達に関する総合的な理解にたち全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員及び中学 校教員を養成することを目的としている。



Mission and Vision



Higher standards for teachers have come to be expected today in Japanese society. As educators, teachers should have not only thorough understanding of the growth and development of human beings but also sufficient knowledge, ideas, background, methods and technique to teach effectively.

Naruto University of Education was established on October 1, 1981 by the Japanese government to respond with a new approach to such social demands. The university is a new kind of University for teachers in that it is designed to retrain teachers from nation-wide schools through advanced course work and research in graduate programs as well as to produce elementary and secondary school teachers in undergraduate programs. Since then the University has sought the fulfillment of appropriate education and research.

Based on the social expectations for schools and teachers, the University established a new professional degree course as teacher education in 2008 to make investigations on teacher education and to produce the well qualified teachers having specialised knowledge and teaching competence.

Master's program aims to produce elementary and secondary school teachers who have specialized knowledge concerning the areas and subjects and enough teaching competence. Professional degree course aims to produce elementary and secondary school teachers who have problem solving abilities and will be leaders in their schools and societies.

The object of the undergraduate programs (College of Education) is to produce elementary and secondary school teachers who are well qualified for teaching in all areas and subjects on the basis of comprehensive understanding of children's growth and development.

1

○昭和49年5月20日	文部省内の「新構想の教員養成大学等に関する調査会」が「教員のための新しい大学・大学院の世界についる。	○平成8年4月1日	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)に構成大学として参加
○昭和53年11月1日	の構想について(報告)」を公表 徳島大学事務局内に「徳島大学鳴門教育大学創 設準備室」を設置	○平成9年4月1日 ○平成10年4月1日	学長に野地潤家が再任 学生総合相談室を設置 学長に溝上泰が就任
0.77	室長に山田憲吾徳島大学長が就任	○平成12年4月1日	学校教育学部初等教育教員養成課程,中学校教
○昭和54年1月10日	室長に岡 芳包徳島大学長が就任		員養成課程を学校教育学部学校教育教員養成課
○昭和55年4月3日	室長に前田嘉明(大阪大学名誉教授)が就任		程に改組(入学定員100人)
○昭和56年4月14日	第94回国会において成立した「国立学校設置法		学校教育研究センターを学校教育実践センター
	の一部を改正する法律(昭和56年法律第23号)」		に改組
	の公布により、本学が法律上設置	○平成13年3月15日	附属小学校多目的教室棟しゅん功
10月 1 日	鳴門教育大学設置(開学)	○平成13年4月1日	大学院学校教育研究科(修士課程)専攻・コー
	学長に前田嘉明が就任		スの入学定員を改定
	学校教育学部初等教育教員養成課程を設置(入		(学校教育専攻(入学定員140人)
	学定員200人) (昭和61年度から学生受入れ)		総合学習開発コース増設(入学定員30人)
	事務局を徳島大学事務局構内に設置		障害児教育専攻(入学定員20人)
○昭和59年1月10日	人文棟, 学生宿舎(単身用1棟, 世帯用1棟)しゅ		教科・領域教育専攻(入学定員140人)
	ん功	○平成13年10月1日	創立20周年記念式典を挙行
3月15日	大学会館しゅん功	○平成14年4月1日	学長に溝上泰が再任
4月1日	大学院学校教育研究科(修士課程)を設置(入	○平成15年10月1日	国立大学法人法施行
	学定員150人),学生受入れ	○平成16年4月1日	国立大学法人鳴門教育大学設立
	(学校教育専攻 人間形成基礎コース)		学長に高橋啓が就任
	教育経営コース,教育方法コース		学校教育実践センター, 附属実技教育研究指導
	生徒指導コース,幼児教育コース		センター,情報処理センター及び保健管理セン
	(入学定員80人)		ターを総括するセンター部を設置
	教科・領域教育専攻 言語系コース		附属小学校,附属中学校,附属養護学校及び附
	社会系コース(入学定員70人)		属幼稚園を総括する附属学校部を設置
	附属図書館を設置	○平成17年4月1日	小学校英語教育センター,教員教育国際協力セ
	事務局を人文棟に移転		ンターを設置
4月12日	学校教育研究センターを設置		学校教育実践センターを地域連携センターに,
4月23日	昭和59年度大学院学校教育研究科入学式(第1		附属実技教育研究指導センターを実技教育研究
	回)挙行		指導センターに,情報処理センターを高度情報
11月30日	学生宿舎 2 棟(単身用 1 棟,世帯用 1 棟)しゅ		研究教育センターに、保健管理センターを心身
	ん功		健康研究教育センターに改組
○昭和60年3月30日	本部棟,体育館しゅん功	○平成19年4月1日	大学院学校教育研究科障害児教育専攻を特別支
4月1日	大学院学校教育研究科(修士課程)入学定員		援教育専攻に改称
	150人を200人に改定		
〔教科・領域教育専攻自	然系コース(入学定員50人)増設〕		生徒指導コース増設
5月15日	講義棟しゅん功		└ 臨床心理士養成コース改称 ∫
9月30日	自然棟しゅん功		附属養護学校を附属特別支援学校に改称
○昭和61年2月27日	学校教育研究センターしゅん功	○平成20年4月1日	学長に高橋啓が再任
3月18日	学生宿舎(単身棟1棟,世帯用1棟)しゅん功		学校教育研究科
3月22日	昭和60年度大学院学校教育研究科(修士課程)		学校教育専攻,特別支援教育専攻,教科・領
	学位記授与式(第1回)挙行		域教育専攻を廃止し,学校教育研究科(修士
3月28日	健康棟,技術棟しゅん功		課程)人間教育専攻,特別支援教育専攻,教
4月1日	大学院学校教育研究科(修士課程)入学定員		科・領域教育専攻、(専門職学位課程)高度
	200人を300人に改定		学校教育実践専攻を設置
	/ 障害児教育専攻(入学定員30人)増設		学校教育学部学校教育教員養成課程
	教科・領域教育専攻芸術系コース(入学定員		障害児教育専修を特別支援教育専修に改称
	35人), 生活・健康系コース(入学定員35人)	○平成21年1月1日	予防教育科学教育研究センターを設置
	(増設)	○平成22年4月1日	学長に田中雄三が就任
4月10日	昭和61年度学校教育学部入学式(第1回)挙行		大学院学校教育研究科(修士課程)教科・領域
4月22日	学校教育学部附属実技教育研究指導センターを		教育専攻
	設置		国際教育協力コースを国際教育コースに改称
	学校教育学部附属小学校,附属中学校,附属養		地域連携センターの実地教育分野と実技教育
	護学校、附属幼稚園を設置(徳島大学教育学部		研究指導センターを教職キャリア支援センター
	附属小学校,附属中学校,附属養護学校,附属		に、地域連携センターの地域連携分野を地域連
0 = 20 =	幼稚園を移管)		携センターに再編
9月30日	芸術棟しゅん功		高度情報研究教育センターを情報基盤センター
10月1日	開学 5 周年記念式典挙行 附属図書館しゅん功		に、心身健康研究教育センターを心身健康セン
○昭和62年3月10日		○平成23年4月1日	ターに改組 学校教育学部学校教育教員養成課程小学校教育
4810	学生宿舎 1 棟(単身用)しゅん功 学校教育学部中学校教員養成課程を設置(入学	〇千成23年4月1日	子仪教育子部子仪教育教員食风味性小子仪教育 事修
4月1日	字校教育子部中子校教員養成課程を設置(八字 定員70人),学生受入れ		
	学校教育学部初等教育教員養成課程入学定員	○平成23年10月1日	学校教育コースを学校教育実践コースに改称 創立30周年記念学術講演会を開催
	200人を100人に改定	○平成23年10月1日	制立30周年記念子桐碑演芸を開催 センター部を廃止
	保健管理センターを設置	○平成24年3月31日	教職キャリア支援センターの長期履修学生支援
5月30日	課外活動共用施設しゅん功	OTIX2444711	分野を分離し、長期履修学生支援センターを設 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
37300	非常勤講師宿泊施設「高島会館」しゅん功		カゴで力能し、反利度ドナエ文版 Cノブーで成 置
○昭和63年3月15日	学生宿舎 1 棟(単身用) しゅん功	○平成24年5月1日	国 予防教育科学教育研究センターを予防教育科学
4月1日	学長に今堀宏三が就任	○ 112027 11 273 1 □	プリ教育科学教育研究でクターをプリ教育科学 センターに改称
○平成2年3月19日	平成元年度学校教育学部卒業式(第1回)挙行	○平成25年4月1日	大学院学校教育研究科(専門職学位課程)高度
○平成2年3月19日	開学10周年記念式典举行	シェルシナュフィロ	学校教育実践専攻の学校・学級経営コース、学
○平成3年10月1日 ○平成4年4月1日	学長に野地潤家が就任		を
4月9日	情報処理センターを設置		開発コースの3コースを1コースとし、教職実
○平成5年8月31日	附属中学校技術棟しゅん功		践力高度化コースに改称
11月26日			
	講堂しゅん功	○平成26年2月28日	総合学生支援棟(コアステーション)しゅん功
	講堂しゅん功	○平成26年2月28日 ○平成26年4月1日	総合学生支援棟(コアステーション)しゅん功 学長に田中雄三が再任
○平成6年3月30日 10月7日			学長に田中雄三が再任
○平成6年3月30日	講堂しゅん功 附属養護学校生活訓練棟しゅん功		

May 20, 1974	"The Comittee for University of Teacher Education with New Idea" at the Ministry of Education, Science and Culture (MESC) prepared the report, "The Concept for New Undergraduate and	April 1, 1996	The university participated as a constituent school in the Joint Graduate School (Ph. D. Program) in the Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education.
November 1, 1978	Graduate University for Teacher Education." "The Office for Arrangement to Establish Naruto University of	April 1, 1997	NOJI Junya was reelected as the president. General Counselling Services Office was established.
	Education" was set up at the Administration Office of Tokushima University.	April 1, 1998 April 1, 2000	MIZOUE Yasushi took office as the president. The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary
	YAMADA Kengo, the president of Tokushima University, took	April 1, 2000	School and Teacher Training Courses for Lower Secondary School
January 10, 1979	office as the head of the office. OKA Yoshikane, the president of Tokushima University took office		reorganized into Teacher Training Courses, College of Education. (Admission 100)
	as the head of the office.	March 15, 2001	The construction of the building for multipurpose activity was
April 3, 1980	MAEDA Yoshiaki, the professor emeritus of Osaka University took office as the head of the office.	April 1, 2001	completed at the university attached elementary school. The number of students to be admitted to Courses in Graduate
April 14, 1981	"The Act for National School Establishment" was partially changed at the 94th National Diet. Naruto University of Education was established as a legal entity.		School of Education (Master Course) was changed as follows; School Education (Admission 140) Basic Human Science for Integrated Studies (Admission 30).
October 1, 1981	Naruto University of Education was inaugurated. MAEDA Yoshiaki took office as the president. The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary		Education for Disabled Children (Admission 20). Education for Specialized Subject Matter and Field (Admission 140).
	School, College of Education (Admission 200) were set up. (The	October 1, 2001	The ceremony for the 20th anniversary of foundation was held.
	enrollment started 1986.) The Administration Office was established at the office of	April 1, 2002 October 1, 2003	MIZOUE Yasushi was reelected as the president. The National University Corporation Laws ware implemented.
January 10, 1984	Tokushima University. The construction of the Humanities Hall and two dormitory buildings	April 1, 2004	The National University Corporation Naruto University of Education was formed.
	for single students and students with families were completed.		TAKAHASHI Hajime took office as the president.
March 15, 1984 April 1, 1984	The construction of the University Hall was completed. The Graduate School of Education (Master Course) (Admission 150) was set up. (The enrollment started in the same year.)	April 1, 2005	The following centers were newly eatablished: The Center for English Language Education at Elementary Schools, and the International Cooperation Center for the Teacher
	School Education (Admission 80) Human Development, Educational Administration, Educational		Education and Training. The following centers were reorganized into new centers: The
	Methodology, School Guidance and Counseling, Early Childhood Education Education for Specialized Subject Matter and Field (Admission 70).		Research Center for School Education was reorganized into the Center for Collaboration in Community, the Training Center for Practical Skills was reorganized into the Research and Training
	Language Education, Social Science Education		Center for Practical Skills, the Information Processing Center
	The University Library was established. The Administration Office was moved to Humanities Hall.		was reorganized into the Advanced Information Research and Education Center, and the Health Management Center was
April 12, 1984	The Research Center for School Education was established.		reorganized into the Research, Education and Management
April 23, 1984	The first entrance ceremony for Graduate School of Education (Master Course) for 1984 academic year was held.	April 1, 2007	Center for Mental and Physical Health. School Education
November 30, 1984	The construction of two more dormitory buildings for single students and students with families were completed.		School Guidance and Counseling Training and Practice in Clinical Psychology
March 30, 1985	The construction of the Administration Hall and the Gymnasium	April 1, 2008	TAKAHASHI Hajime was reelected as the president.
April 1, 1985	were completed. The number of students to be admitted to Graduate School of		Graduate School of Education Fields of School Education, Special Needs Education, and
	Education (Master Course) was changed from 150 to 200.		Education for Specialized Subject Matter and Field were
	The Natural Science Education Course was added to Education for Specialized Subject Matter at Graduate School of Education		abolished. Human Education, Special Support Education, Education for Specialized Subject Matter and Field at the
May 15, 1985	(Admission 50). The construction of the Lecture Hall was completed.		Graduate School of Education (Master Course) and Advance Practice of School Education at the Graduate School of Education
September 30, 1985	The construction of the Sciences Hall was completed.		(Professional Degree Course) were instituted.
February 27, 1986	The construction of the Research Center for School Education was completed.		The Teacher Training Courses for College of Education. Special Needs Education was renamed Special Support
March 18, 1986	The construction of two more dormitory buildings for single students and students with families were completed.	January 1, 2009	Education. The Center for Education and Research on the Science of
March 22, 1986	The first commencement for Graduate School of Education	•	Preventive Education was constructed.
March 28, 1986	(Master Course) for 1985 academic year was held. The construction of the Health Education Hall and the Technical	April 1, 2010	TANAKA Yuzo took office as the president. The Graduate School of Education (Master Course), Education for
April 1, 1986	Service Center were completed. The number of students to be admitted to Graduate School of		Specialized Subject Matter and Field International Educational Cooperation Course was renamed
Дрії 1, 1700	Education (Master Course) was changed from 200 to 300.		International Education Course.
	The Education for Disabled Children Course (Admission 30), the Arts Education Course (Admission 35), and the Health and Living		The Division of Pre-service Teacher Training of the Center for Collaboration in Community, and the Research and Training Center
April 10, 1986	Sciences Education Course (Admission 35) were added. The construction of The first entrance ceremony for College of		for Practical Skills, were realigned into the Center for Educational Career Development; and the Division for Collaboration in Policy
	Education for 1986 academic year was held.		and Practice of the Center for Collaboration in Community was realigned into the Center for Collaboration in Community.
April 22, 1986	The Training Center for Practical Skills was established. The University attached schools were set up (Naruto University of		The Advanced Information Research and Education Center was
	Education took charge of former University of Tokushima attached elementary school, lower secondary school, school for disabled		realigned into the Center for Information Technology Services; and the Research, Education and Management Center for Mental
	children, and kindergarten).		and Physical Health was realigned into the Center for Health and
September 30, 1986 October 1, 1986	The construction of the Arts Hall was completed. The ceremony of the fifth anniversary of inauguration was held.	April 1, 2011	Counseling Services. The Teacher Training Courses of Elementary School Education for
March 10, 1987	The construction of the University Library was completed. The construction of another dormitory building for single students		College of Education. School Education Course was renamed Field of School Education
	was completed.		Course.
April 1, 1987	The Teacher Training Courses for Lower Secondary (Admission 70) was set up in College of Education. (The enrollment started in the	October 1, 2011	The scientific lecture for the 30th anniversary of foundation was held.
	same year.)	March 31, 2012 April 1, 2012	The Group of Centers was abolished. The Division of Long-term Student Support was separated from
	The number of students to be admitted to the Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School, College of	April 1, 2012	the Center for Educational Career Development and the Center
	Education (undergraduate school) was changed from 200 to 100. The Health Service Center was established.	May 1, 2012	for Long-Term Study Student Support was established. The name of the Center for Education and Research on the
May 30, 1987	The construction of the Club House was completed.	Thay 7	Science of Preventive Education was changed to the Center for the Science of Preventive Education.
	The construction of the Guest House, Takashima Kaikan was completed.	April 1, 2013	Three courses of Advanced Practice of School Education
March 15, 1988	The construction of another dormitory building for single students was completed.		(Professional Degree Course) of Graduate School of Education (School and Classroom Administration, Practice of School
April 1 , 1988	IMAHORI Kozo took office as the president.		Clinical Psychology, and Practice of Teaching and Curriculum
March 19, 1990	The first commencement for College of Education (undergraduate course) for 1989 academic year was held.		Development) were united into one course and renamed Advanced Educational Practitioner.
October 1, 1991 April 1, 1992	The ceremony for the tenth anniversary of foundation was held. NOJI Junya took office as the president.	February 28, 2014	The construction of the General Student Services Building (Core Station) was completed.
April 9, 1992	The Information Processing Center was established.	April 1, 2014	TANAKA Yuzo was reelected as the president.
August 31, 1993	The construction of the Technical building for practice and experiments was completed at the university attached lower		The Distance Learning Program was instituted in the field of Human Education of the Graduate School of Education (Master of
November 26, 1993	secondary school. The construction of the Auditorium was completed.		Education).
March 30, 1994	The construction of Training building for daily life practice was		
October 7, 1994	completed at the university attached school for disabled children. The construction of the building for the Information Processing		
	Center was completed.		

4

附属特別支援学校 University Attached School for Disabled Children 役 職 **員 Executives and Directors**

役 員 **Executives**



長 田中 雄三

President

TANAKA Yuzo



理事 • 副学長 西園 芳信

Executive Director, Vice President

NISHIZONO Yoshinobu



理事・副学長 山下 一夫 Executive Director, Vice President

YAMASHITA Kazuo



理事・副学長 茶畠

Executive Director, Vice President

CHABATAKE Yutaka

監事(非常勤)〔仙台大学副学長〕 Auditor (Part-Time) [Vice President of Sendai University] 若井 彌一 WAKAI Yaichi

監事(非常勤)〔公認会計士〕 Auditor (Part-Time) (Certified Public Accountant)

孝仁 HARA Takahito 副学長 Vice President 副学長 大石 雅章 Vice President OISHI Masaaki 副学長 梅津 正美 UMEZU Masami Vice President 副学長 尾崎 十郎 Vice President **OZAKI** Shiro 副学長 近森憲助 CHIKAMORI Kensuke Vice President 部局長等 **Academic Chairs** 附属図書館長 西園 Director of University Library NISHIZONO Yoshinobu 基礎・臨床系教育部長 佐古 秀一 Dean of School of Basic Research and Improvement of Practice for Education SAKO Hidekazu 人文・社会系教育部長 山本 Dean of School of Humanities and Social Sciences Education YAMAMOTO Jun 自然・生活系教育部長 菊地 Dean of School of Natural and Living Sciences Education KIKUCHI Akira 芸術・健康系教育部長 山木 朝彦 Dean of School of Arts and Health Education YAMAKI Asahiko 附属学校部長 田中 弘之 Director of University Attached Schools TANAKA Hiroyuki 教職キャリア支援センター所長 秋田 美代 Director of Center for Educational Career Development AKITA Miyo 長期履修学生支援センター所長 佐藤 勝幸 Director of Center for Long-Term Study Student Support SATO Katsuyuki 地域連携センター所長 吉本佐雅子 Director of Center for Collaboration in Community YOSHIMOTO Sachiko 情報基盤センター所長 伊藤 陽介 Director of Center for Information Technology Services ITO Yosuke 予防教育科学センター所長 山崎 勝之 Director of Center for the Science of Prevention Education YAMASAKI Katsuyuki 小学校英語教育センター所長 伊東 治己 Director of Center for English Language Education at Elementary Schools ITO Harumi 教員教育国際協力センター所長 香西 Director of International Cooperation Center for the Teacher Education and Training KOZAl Takeshi 心身健康センター所長 廣瀬 政雄 Director of Center for Health and Counseling Services HIROSE Masao 佐々木 晃 附属幼稚園長 Principal of University Attached Kindergarten SASAKI Akira 附属小学校長 天羽 俊裕 Principal of University Attached Elementary School AMO Toshihiro 附属中学校長 中川 隆彦 Principal of University Attached Lower Secondary School NAKAGAWA Takahiko

附属特別支援学校長

Principal of University Attached School for Disabled Children

山越

YAMAKOSHI Akira

経営協議会委員

Members of the Management Council

鳴門市長

Mayor of Naruto City

徳島銀行取締役会長

Chairman of the Tokushima Bank

元・全日本中学校長会副会長

Former Vice Chairman of All Japan Junior High School Principals' Association

株式会社あわわ会長

Chairman of AWAWA

徳島県教育委員会教育長

Director of Education Board of Tokushima Prefecture

前・東京学芸大学学長

Former President of Tokyo Gakugei University

学長 President

理事

理事

Executive Director

Executive Director

理事 **Executive Director**

経営企画本部長 Director for Department of Management Planning

教授

Professor

理彦

IZUMI Michihiko

柿内 愼市

KAKIUCHI Shinichi

齋藤 実徳

SAITO Minori

坂田千代子

SAKATA Chiyoko

佐野 義行

SANO Yoshiyuki

村松 泰子

MURAMATSU Yasuko

田中 雄三 TANAKA Yuzo

西園 芳信

NISHIZONO Yoshinobu

山下 一夫

YAMASHITA Kazuo

茶畠

CHABATAKE Yutaka

古川 聖登

FURUKAWA Masato

佐古 秀一 SAKO Hidekazu

教育研究評議会評議員

Members of the Education and Research Council

学長

President

理事

Executive Director

理事

Executive Director

理事

Executive Director

副学長

Vice President

基礎・臨床系教育部長

Dean of School of Basic Research and Improvement of Practice for Education

人文・社会系教育部長

Dean of School of Humanities and Social Sciences Education

自然・生活系教育部長

Dean of School of Natural and Living Sciences Education

芸術・健康系教育部長

Dean of School of Arts and Health Education

田中 雄三

TANAKA Yuzo

西園 芳信

NISHIZONO Yoshinobu

山下 一夫

YAMASHITA Kazuo

茶畠

CHABATAKE Yutaka

大石 雅章

OISHI Masaaki

佐古 秀一 SAKO Hidekazu

山本

YAMAMOTO Jun

菊地 章

KIKUCHI Akira

山木 朝彦

YAMAKI Asahiko

附属学校部長

Director of University Attached Schools

経営企画本部長

Director for Department of Management Planning

教授

Professor

教授

Professor

教授

Professor

教授

Professor

教授

Professor

田中 弘之

TANAKA Hiroyuki

古川 聖登

FURUKAWA Masato

西村 公孝

NISHIMURA Kimitaka

前田 洋一

MAEDA Yoichi

村井万里子

MURAI Mariko

松岡 MATSUOKA Takashi

木原 資裕

KIHARA Motohiro

事務組織

Administrative Organization

経営企画本部長

Director for Department of Management Planning

全幹

Chief Director

総務課長

Head for Division of General Affairs

企画課長

Head for Division of Policy Planning

財務課長

Head for Division of Financial Affairs

施設課長

Head for Division of Facilities

教務企画課長

Head for Division of Academic Affairs and Planning

学生課長

Head for Division of Student Affairs

入試課長

Head for Admission Division

社会連携課長

Head for Division of Regional Affairs

古川 聖登

FURUKAWA Masato

宮川 俊二

MIYAGAWA Shunji

菅原 秀倫

SUGAWARA Hidenori

地藏堂 聡

JIZODO Satoshi

富永洋和

TOMINAGA Hirokazu

田原 一幸

TAHARA Kazuyuki

戸田 陽介 TODA Yosuke

溝下 洋和

MIZOSHITA Hirokazu

栗尾 勇

KURIO Isamu

藤原 司

FUJIWARA Tsukasa



役員・職員数 The Number of Executives and Staff

役員数 The Number of Executives

学 長 President 1名 監事(非常勤)

Executive Directors 3

2名 Auditors (part-time)

(平成26年 5 月 1 日現在) (May 1, 2014)

職員数 The Numbe	r of Fa	aculty	and S	Staff																									(平成		1 日現在) lay 1, 2014)
	教	授	准	牧 授	講	師	助	教	大学		研乳	完昌							附属学 ers at Univ			nools					事務	職員		合 計	
区 分 Description	Profe			ociate essors	Lecturers		Assistant Professor		小計 Total			archer		割)長 cipals	教 Vice Pr	頭 incipals		教諭 Principals	指導	教諭 Teachers	教 Tead	諭 chers		教諭 Nurses	栄養 Nutrition	教諭 Instructor		stration Staff		Total	
Бозоправл	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	計 Total
大学院学校教育研究科 Graduate School of Education	63	12	38	17	11	2		1	112	32																			112	32	144
教職キャリア支援センター Center for Educational Career Development	(3)	(1)	(5)		(1)				(9)	(1)																			(9)	(1)	(10)
長期履修学生支援センター Center for Long-Term Study Student Support	(1)			(1)					(1)	(1)																			(1)	(1)	(2)
地域連携センター Center for Collaboration in Community	(1)	(1)	(1)						(2)	(1)																			(2)	(1)	(3)
情報基盤センター Center for Information Technology Services	(1)		(2)						(3)	0																			(3)	0	(3)
予防教育科学センター Center for the Science of Prevention Education	(3)	(2)		(1)		1			(3)	1(3)	1																		1(3)	1(3)	2(6)
小学校英語教育センター Center for English Language Education at Elementary Schools	(1)		(1)	(1)					(2)	(1)																			(2)	(1)	(3)
教員教育国際協力センター International Cooperation Center for the Teacher Education and Training	(3)	(2)	(1)		(1)				(5)	(2)																			(5)	(2)	(7)
心身健康センター Center for Health and Counseling Services	(2)	(1)		(1)					(2)	(2)																			(2)	(2)	(4)
附属幼稚園 University Attached Kindergarten									0	0			1								1	4		1				(1)	2	5(1)	7(1)
附属 小 学 校 University Attached Elementary School									0	0			1			1	1				12	11		1		1	(2)		14(2)	14	28 (2)
附属中学校 University Attached Lower Secondary School									0	0			1		1			1			8	13		1				(1)	10	15(1)	25 (1)
附属特別支援学校 University Attached School for Disabled Children									0	0			1		1				1		8	19		1			(1)	(3)	11(1)	20(3)	31 (4)
事務職員・その他 Administration Office Staff and others					1				1	0																	66	38	67	38	105
合 計 Total	63 (15)	12 (7)	38 (10)	17 (4)	12(2)	3	0	1	113 (27)	33 (11)	1	0	4	0	2	1	1	1	1	0	29	47	0	4	0	1	66 (3)	38 (5)	217 (30)	125 (16)	342 (46)

備考:()内は再掲である。

Note: The numbers in parentheses indicate the personnel who are officially classified to belong to other sections.



コアステーション Core Station



At Campus

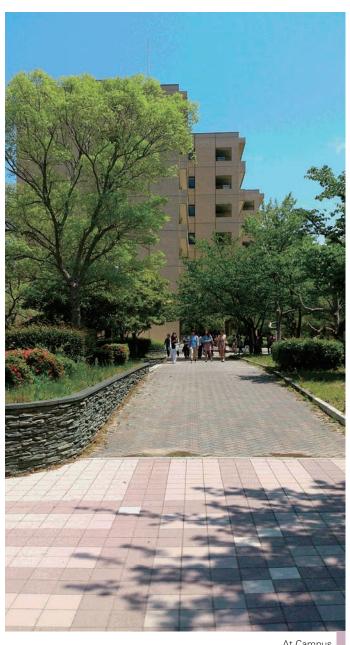
10

数 育 部

本学の教育研究及び運営を円滑に行うため、学校教育研究科、学校教育教員養成課程及び附属教育研究施設等の関連 を配慮し、教員組織として4つの教育部を設けている。

なお、教職キャリア支援センター、長期履修学生支援センター、地域連携センター、情報基盤センター、予防教育科 学センター、小学校英語教育センター、教員教育国際協力センター及び心身健康センターに兼務する教員も、それぞれ の学問領域に応じ、いずれかの教育部に属することになっている。

教育部は、教員組織として置き、本学の創設の趣旨・目的に沿い、学校教育における理論的・実践的な教育研究の充 実を図り、各関係専門分野の協力体制を確保し、弾力的な運営を図る。



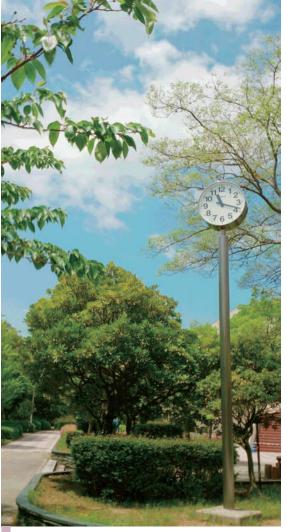
教育 部	学問領域
基礎・臨床系教育部	教育学 心理学 医学等
人文・社会系教育部	国語科教育 英語科教育 社会科教育 人間科学等
自然・生活系教育部	数学科教育 理科教育 技術科教育 家庭科教育等
芸術・健康系教育部	音楽科教育 美術科教育 保健体育科教育等

At Campus



All the academic staff included in Center for Educational Career Development, Center for Long-Term Study Student Support, Center for Collaboration in Community, Center for Information Technology Services, Center for the Science of Prevention Education, Center for English Language Education at Elementary Schools, International Cooperation Center for the Teacher Education and Training and Center for Health and Counseling Services are members in one of the four schools as shown in the table.

School	
School of Basic Research	Educational Theories and Practices
and Improvement of	Psychology
Practice for Education	Medical science
	Japanese Language Education
School of Humanities and	English Language Education
Social Sciences Education	Social Studies Education
	Human Science
	Mathematics Education
School of Natural and	Science Education
Living Sciences Education	Technology and Information Education
	Home Economics Education
	Music Education
School of Arts and Health Education	Fine Arts Education
	Health and Physical Education



At Campus



University Library

附属図書館は、教科書、指導書、教育関係資料ほか約33万冊の資料を所蔵している。利用者の教育・研究環境を充実させるため、平日は22時まで開館しており、土曜日、日曜日、祝日(学生休業期間中を除く)も開館し、一般市民にも広く開放している。

図書館ウェブページでは、蔵書検索(OPAC)、GeNii、PsycINFOや約9,400タイトルに上る電子ジャーナルを提供している。

教育関係資料では、国語・教育学分野を中心とした図書(約2万5千冊)を集めた「野地潤家文庫」(野地元学長寄贈)及び著名な教育実践家であった大村はま氏寄贈の学習記録,文献等(約1万冊)を集めた「大村はま文庫」があり、 学内外の研究者の利用に供している。

大学図書館では珍しい児童図書室は、学生・子ども・市民の交流の場として広く地域に開かれ、学生ボランティア等による子育で支援活動が行われている。学生にとっては実地教育を通じた学びの場となっている。

The University Library stores about 330,000 items of materials including textbooks, teacher's manuals, and materials on education. It is open till 22:00 on a weekday, to provide a good educational and research environment to users. It is also open on Saturday, Sunday and national holidays (except during students' vacation); and is accessible not only to students, but also to the public.

Visitors to the Library's website can use a book search service (OPAC), GeNii and PsycINFO, and view about 9,400 titles of electronic journal.

Two collections are available for researchers at and outside the university: One is Noji Junya Collection, which were contributed by the former President Noji and comprises about 25,000 books mainly in Japanese linguistics and pedagogy. The other is Omura Hama Collection, which were contributed by Ms. Hama Omura, a famous educator and comprises about 10,000 items of study records and materials.

The University Library has a section for children, called Children's Library, which is an uncommon feature for this kind of library. Children's Library, designed for exchange among students, children and citizens, is opened to various members of the local community, and serves as a facility for the efforts of student volunteers, etc. to support child rearing. For students, Children's Library represents a good opportunity for practical study.



PACコーナー OPAC Corner

利用サービス状況

Overview of library use

(平成25年度) (in 2013)

Overview c	of library use		(in 2013)
開	館 E Yearly open days		327
入	館 書 Yearly admission:		86,817
		教職員 Faculty and staff	1,125
		学 生 Students	8,972
貸 出 Yearly checkou	人数 it by personnel	一般利用者 Visitors	775
		児童図書室 Children's Library	907
		計 Total	11,779
		教 職 員 Faculty and staff	2,805
		学 生 Students	22,938
貸 出 Yearly checko	冊 数 ut by volumes	一般利用者 Visitors	2,549
		児童図書室 Children's Library	3,298
		計 Total	31,590
文 献	複 写	受 付 Form inside	3,194
Photoduplication	service requests	依 頼 Form outside	1,301

蔵 数 書

Number of Books

(平成26年3月31日現在) (March 31, 2014)

和 書 Japanese books	278,355
洋 書 Books writen in other languages	51,686
青十 Total	330,041

雑誌種類数

Number of Periodicals

(平成26年 3 月31日現在) (March 31, 2014)

和	雑	志	5,258
Ja	apanese periodica	ls	
洋	雑	誌	1,008
Periodicals	s written in other I	languages	
	計 Total		6,266



Open Stack System of the Library



Noji Junya Collection, Omura Hama Collection



セミナー室 Seminar room



Children's Library

教職キャリア支援センター

Center for Educational Career Development

教職キャリア支援センターは、実地教育分野、実技能力支援分野から成り、以下のような業務を行う。

<実地教育分野>

- (1) 実地教育に関する研究並びに実地教育及び介護等体験の実地に関すること
- (2) 実地教育及び介護等体験において学生が抱える問題を解決するための指導助言等に関すること
- (3) その他実地教育及び介護等体験の円滑な履修に必要な措置に関すること

<実技能力支援分野>

(1) 音楽教育,美術教育,保健体育教育に関する実際的・技術的能力,実技指導能力等の教育支援に関すること

The Center for Educational Career Development consists of the Division of Pre-service Teacher Training and the Division of Practical Skills Support, which conduct the following activities.

Division of Pre-service Teacher Training

- (1) Conducting researches on pre-service teacher training and performing activities for pre-service teacher training and nursing care training.
- (2) Giving instructions and advice to the students so that they can solve problems they face in their pre-service teacher training and nursing care training.
- (3) Conducting other activities necessary to facilitate smooth pre-service teacher training and nursing care training.



(1) Supporting practices in the use of ICT in schools and community.



教育実習事前指導の様子

Prior meeting of the student teaching



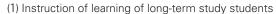
長期履修学生支援センター

Center for Long-Term Study Student Support

長期履修学生支援センターは,長期履修学生制度により学校教員養成プログラムを受講している学生(以下「長期履修学生」という。)に対する支援業務を行うことを目的とし,以下のような業務を行う。

- (1) 長期履修学生の修学指導
- (2) 長期履修学生の教育実習
- (3) 長期履修学生の生活指導
- (4) 学校教員養成プログラムの広報活動

The Center for Long-Term Study Student Support is intended to support students who have been on the school teacher training program in the long-term student training system (hereinafter called "long-term study students") and takes the following operations.



- (2) Practical teaching of long-term study students
- (3) Lifestyle guidance for long-term study students
- (4) Public relations activities concerning the school teacher training program



演習風景

Exercise Scenery



Exercise Scenery



地域連携センター Center for Collaboration in Community

地域連携センターは、教育連携コーディネート分野と教育情報コミュニケーション分野から成り、以下のような業務 を行う。

<教育連携コーディネート分野>

- (1) 大学と学校・地域との連携に関する事業の企画・運営
- (2) 学校教育の活性化と教員の資質向上を図るための研究・支援
- (3) 産学共同研究及び客員研究員との各種研究プロジェクトの推進
- (4) センター紀要等各種広報資料の作成・配布

<教育情報コミュニケーション分野>

- (1) 学校・地域における ICT を活用した実践の支援
- (2) コミュニケーションや協同的思考に関わる授業実践の支援と研究
- (3) 教師の ICT 活用能力向上に関する研究



子どもサポータ-

Children's Supporter Training Courses

The Center for Collaboration in Community consists of the Division for Cooperation for Education and the Division for Educational Information Communication, which conduct the following activities.

Division of Cooperation for Education

- (1) Planning and operating projects for collaboration among the university, schools and community.
- (2) Researching and supporting for the purpose of activating school education and improving teacher qualities.
- (3) Promoting industry-university joint researches and various research projects with visiting researchers.
- (4) Preparing and distributing various public relations materials such as bulletins of the centers.

Division of Educational Information Communication

- (1) Supporting practices in the use of ICT in schools and community.
- (2) Supporting and studying the practice of lessons related to communication and cooperative thinking.
- (3) Conducting researches for improving teachers' ability to use ICT.



情報基盤センター Center for Information Technology Services

情報基盤センターは、情報システム分野及び情報教育分野から成り、以下のような業務を行う。

<情報システム分野>

- (1)情報環境改善・整備の推進に関すること
- (2) 学生及び職員の活用支援に関すること
- (3) 学内ネットワークの運営に関すること

<情報教育分野>

(1) 情報教育のための教育支援に関すること

The Center for Information Technology Services consists of the Division of Information System and the Division of Information Education, which conduct the following activities.



教育用端末室

Educational Computer Room

Division of Information System

- (1) Promoting the improvement and development of the information environment.
- (2) Supporting students and staff in the use of the information system.
- (3) Operating the on-campus network.

Division of Information Education

(1) Supporting information education.



予防教育科学センター

Center for the Science of Prevention Education

予防教育科学センターは、いじめ、不登校、抑うつ、生活習慣病などの問題から子どもたちの健康と適応を守るため、 新しい学校予防教育を展開しています。

その教育は、トップ・セルフ「『いのちと友情』の学校教育」と呼ばれています。エビデンス(科学的根拠)に基づ き実施されるこの教育は、健康・適応から学業まで、幅広く子どもたちを守り、育てます。

そして何よりも、子どもたちは、この授業を楽しみにしています!

「子どもたちの笑顔に満ちた未来のために!」 ― いっしょに学び、実践しませんか。

センターでは,

- (1) 学校の先生がたのため、研修会を開いています。
- (2) 毎年, この教育を学校で実践しています。
- (3) 国内や海外の研究者や教育者といっしょに, この教育を進めています。



Logo of TOP SELF

◇お問い合わせはこちらにどうぞ

電話:088-687-6612 ファックス:088-687-6604

メール: prevent-ctr@naruto-u.ac.jp ホームページ:「予防教育科学」で検索|

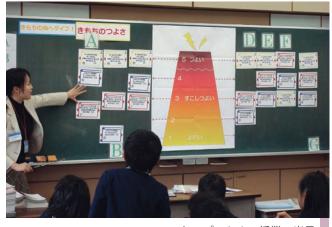
The Center for the Science of Prevention Education has been developing and implementing a new type of school prevention education to protect children's health and adjustment against bullying, school refusal depression, lifestyle diseases, and so on.

This education is named "TOP SELF" (Trial Of Prevention School Education for Life and Friendship). Based on scientific evidence, it can educate children for their health, adjustment, and academic performance. We underscore that children are always looking forward to this education in their schools!

"For children's future full of smiles!" - Let's learn and implement this education together.

Our center is very active in:

- (1) holding training sessions for teachers on a regular basis,
- (2) implementing this education in schools every year,
- (3) collaborating with domestic and overseas researchers and educators for enhancing this education.



トップ・セルフ授業の光景 A scene in a class of TOP SELF



トップ・セルフで登場するアニメ・キャラクター

Cartooned characters in TOP SELF



小学校英語教育センター

Center for English Language Education at Elementary Schools (CELEES)

小学校英語教育センターは、カリキュラム開発分野、研修・支援プログラム開発分野から構成され、各分野を中心に 関連コースとの連携をはかりながら大学全体及び学外に対して以下のような業務を行う。

<カリキュラム開発分野>

- (1) 小学校英語教育指導法に関する研究及び教材開発
- (2) 小学校英語教育カリキュラムに関する研究推進
- (3) 小学校英語教育研究会の開催

<研修・支援プログラム開発分野>

- (1) 外国語活動担当教員研修プログラムの実施
- (2) 外国語活動に関する web や電話等による相談窓口の開設
- (3) 附属学校の授業支援
- (4) 遠隔教育:e-learning のコンテンツ作成及び公開

The Center for English Language Education at Elementary Schools consists of two sections, the Curriculum Development Section and the Teacher Training and Support Section. The center cooperates with related departments to provide the following services:

Curriculum Development Section

- (1) Researching and developing teaching methods or techniques for elementary school children
- (2) Developing curriculum for English language education at elementary schools
- (3) Providing forums for discussion about English language education at elementary schools

Teacher Training and Support Section

- (1) Offering in-service training for teachers
- (2) Giving assistance or counseling on English language education at elementary schools through the Internet or telephone
- (3) Supporting English lessons at the attached elementary school
- (4) Developing and publicizing e-learning material



English lesson at the attached elementary school



教員教育国際協力センター

International Cooperation Center for the Teacher Education and Training (INCET)

教員教育国際協力センターは、理数科教育協力研究分野、ICT教育協力研究分野及び国際教育開発研究分野からなり、 主として次のような業務を行う。

- (1) 理数科教育に関する協力事業についての研究・開発並びにその成果の共有・発信
- (2) ICT 教育に関する協力事業についての研究・開発並びにその成果の共有・発信
- (3) 国際教育協力経験の社会への還元及び国際教育プログラムの開発研究

これらの業務を推進するために、シンポジウムやフォーラム等センター事業の推進・改善、途上国からの研修受入、専門家派遣、現地調査研究等々を実施するとともに、学内外識者の協力のもと大学院「国際教育コース」の充実と受託事業の展開に努めることとする。

The International Cooperation Center for the Teacher Education and Training has three research divisions.

- (1) Research and Development of international cooperation projects for mathematics and science education, and dissemination of accumulated knowledge.
- (2) Research and Development of international cooperation projects for information and communication technology education, and dissemination of accumulated knowledge.
- (3) Sharing experiences of international cooperation in teacher education and research and development of program for international cooperation.

The International Cooperation Center for the Teacher Education and Training coordinates acceptance of JICA short-term training courses, dispatches experts to developing countries. Also it conducts research for teacher education in developing countries. It holds conferences to share the experience for teacher education in developing countries.



ユネスコスクールフォーラム UNESCO School forum

モザンビーク国別研修「教員養成校における現職教員教授法改善Improvement of teaching methodology of IFPs on In-service education and training in Mozambique

心身健康センター **Center for Health and Counseling Services**

心身健康センターは、心身医療・健康管理分野及び心理・教育相談分野から成り、以下のような業務を行う。

<心身医療・健康管理分野>

- (1) 学生及び職員の心身の健康の保持及び増進に関する研究と教育の実施
- (2) 定期健康診断と救急治療
- (3) 健康相談及び精神保健相談

<心理・教育相談分野>

- (1) 心理的問題で悩む幼児・児童・生徒・成人及びその家族に対する臨床心理的サービスの提供
- (2) 学級担任や学校長の求めに応じた、生徒指導上の問題に関する助言
- (3) 大学院生の相談活動に関する教育・訓練の実施
- (4) 就学前教育・学校教育に携わる教員に向けての研修等の活動

The Center for Health and Counseling Services has two divisions, Division for Medical Management of Mental and Physical Health and Division for Educational Guidance, Counseling, and Psychotherapy. Each division performs the following roles.

Division for Medical Management of Mental and Physical Health

- (1) Research and education to improve mental and physical health of the faculty staff and students
- (2) Management for periodic health check-ups and first aid medical treatment
- (3) Counseling for physical and mental health

Division for Educational Guidance, Counseling, and Psychotherapy

- (1) Clinical psychological counseling services to infants, children, students, adults, and their family members who suffer from psychological distress
- (2) Giving advice to homeroom teachers and principals in educational guidance and counseling
- (3) Training and educating graduate school students for the counseling skills
- (4) Planning and providing seminars for pre-school teachers and school teachers



Center for Health and Counseling Services







附属小学校 University Attached Elementary School

附属学校は、大学と一体になって、教育の理論や実践に関する科学的研究を行うとともに、大学の計画に従い学生の 教育実習等の実施に当たることを目的に、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校及び附属特別支援学校を設置している。 併せて、附属学校においては、幼児の心身の発達を助長する保育、児童・生徒の心身の発達に応じて義務教育として 行われる普通教育のうちの基礎的な教育、及び小学校における教育の基礎の上に義務教育として行われる普通教育、並 びに知的障害や自閉症の児童・生徒に対する小学校、中学校、高等学校に準ずる教育及び自立を図るために必要な知識 技能を習得させる実習等を実施している。

附属学校は、大学のある鳴門市の高島キャンパスから20キロほど離れた徳島市内に位置している。

To promote the practical studies at the university in the area of education for infants, pupils, and students and the effective practical training for the university students, the university has a kindergarten, an elementary school, a lower secondary school and a attached for disabled children. These schools provide the education for helping infants' cognitive and physical growth, and, responding to the physical and cognitive developments of the pupils and the students, the basic and regular education among the general education as compulsory education and the education for pupils and students who have mental disability or autism. These attached schools are located in Tokushima city, 20 kilometers away from the univesiy, the Takashima Campus, in Naruto city.



University Attached Lower Secondary School



University Attached School for Disabled Children

(平成26年 5 月 1 日現在) (May 1, 2014)

									(1410	19 1, 2017/
I▽	\triangle	入学定員	総定員		幼	児・児	直 ・ Currently Filled	生徒	数	
	区 分 School		形足貝 Enrollment Capacity	在校(園)者数 Actual Enrollment	1学年 1st Grade	2学年 ^{2nd} Grade	3学年 3rd Grade	4学年 4th Grade	5学年 5th Grade	6学年 6th Grade
		3歳児 26			3歳児 3Years Class	4歳児 4Years Class	5歳児 5Years Class			
	幼 稚 園 ached Kindergarten	4歳児 26 4 Years Class	130	126	26	51	49			
	小 学 校 hed Elementary School	102	666	646	102	100	96	113	120	115
	中学校 Id Lower Secondary School	160	480	463	153	153	157			
附属特別	小学部 Elementary	(複式)Combined Class 学級定員 6	18	18	3	3	3	3	3	3
支援学校 University Attached	中学部 Lower Secondary	6	18	18	6	6	6			
School for Disabled Children	高 等 部 Upper Secondary	8	24	24	8	8	8			



Vivacious movement, mustering all the strength



Ceremony of signing



Physical education class



Studying at Upper Secondary

教育課程 Academic Programs

大学院学校教育研究科 (修士課程)

				修了要作	井 単 位 数	
					教科・領域	域教育専攻
	区分	内 容 	人間教育 専攻	特別支援 教育専攻	国際教育 コース を除く	国際教育コース
教	職共通科目	現代の教育課題をふまえ,教育実践の基盤として必要な教職基礎理論を総合的に身に付けることをねらいとする科目として開設する。	4単位	4単位	4単位	-
専門科目	領 域 等内容科目	領域等の理論的,専門的知識を身に付けるとともに,実践的・理論的な 研究能力を高めることをねらいとする科目として開設する。	12単位	12単位	12単位	12単位
科目	領 域 等 方 法 科 目	領域等の方法,技法に関する専門的知識を身に付けるとともに,実践的・ 理論的な研究能力を高めることをねらいとする科目として開設する。	12半世	12半业	12半业	12+12
応用実	広 領 域コア科目	現代の教育課題に応えうる教育実践を構想し、展開するための知識と観点の形成をねらいとする科目として開設する。	4単位	4単位	4単位	-
応用実践科目	教育 実践 フィールド研究	教員として高度な教育実践能力を養成することを目的とし、理論的な知識を学校現場で応用及び検証するための科目として開設する。	4単位	4単位	4単位	-
課	題 研 究	学生の教育研究課題を考慮して開設し、修士論文に発展させる。	6単位	6単位	6単位	6単位
		自由選択科目(備考)	_	_	_	12単位
		合 計	30単位	30単位	30単位	30単位

備考:自由選択科目は、各専攻の専門科目の授業科目のうちから選択すること。

大学院学校教育研究科 (専門職学位課程)

区分	内容	修了要件単位数 高度学校教育実践専攻					
	rs ts	教職実践力高度化コース	教員養成特別コース				
共通科目	学校現場における教育課題に対応する5領域について、事例研究等を通して実践的・体系的な知識を習得し、学校における実践場面において、リーダーシップを 発揮することのできる教員としての基層的な力量の形成を図る。	20単位	20単位				
専門科目	各科目群の専門性に応じた科目を設定し、実習科目との関連を図りながら学校現場の教育課程を理論的・実践的に分析し、専門職としての高度の実践的な問題解決能力・開発能力を育成する。	18単位	16単位				
実習科目	共通科目,専門科目で習得をした内容をふまえ,それらの知識,技能等を学校現場で検証,修正していくことを通して,実践と理論の融合を図る。	10単位	12単位				
	合 計	48単位	48単位				

学校教育学部

				学校教	育教員養	成課程		
_ ^	_			卒第	美要件单位	立数		
区分	内	幼児	小岩	学校教育專	 事修	中学校教	教育専修	特別支援
		教育専修	学校教育 実践コース	体 育 科教育コース	左記以外のコース	技 術 科教育コース	左記以外のコース	教育専修
教養基礎科目	高等学校までの学習で獲得した知識,大学で習得する知識を関連づけ,統合して,現代社会の諸問題に主体的に向き合うことができるようにするための,学問横断的な科目を中心とした「現代社会の諸問題」領域と,心身の健康の獲得及び自己表現力とコミュニケーション能力の習得を目的とした「身体運動・表現コミュニケーション」領域の2領域において,授業科目を開設する。	20単位 以上	22単位 以上	22単位 以上	22単位 以上	22単位 以上	22単位 以上	22単位 以上
教育実践コア科目	教科の成立と人間理解を通して,教師という職業について様々な側面から理解し,あるべき教師像を考える「教育実践基礎演習」と,学習指導要領を基盤とする教科内容の柱立ての理解,授業構成や指導方法,子ども理解など,教師として必要な実践的指導力を育成する「教科教育実践」で構成したもので,「教育実習」と並ぶ教育実践のためのコアとなる科目として開設する。	6単位以上	18単位 以上	8単位 以上	8単位 以上	8単位 以上	8単位 以上	12単位 以上
教職共通科目	教職に関する専門科目で、学校教育の理論的・実践的分野に関わる 科目を含み、特に子どもとのふれあいを重視するための授業科目と して、実地教育を開設する。	65単位 以上	52単位 以上	55単位 以上	55単位 以上	51単位 以上	49単位 以上	50単位 以上
専修専門科目	学生の専修・教育コースに応じて、それぞれの分野での指導能力を 高め、自分の得意分野を確立し、教育実践・教育研究を進めていく 能力と態度を培うための授業科目を開設する。	33単位 以上	32単位 以上	33単位 以上	32単位 以上	38単位 以上	38単位 以上	38単位 以上
卒業研究	教養基礎科目,教職共通科目及び専修専門科目などの学習を基に, 学校教育の諸問題に対して,その状況を的確に把握・分析し,解決 できる能力の育成を図るために,自らが課題を設定して研究を行う。	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位
	合 計	128単位 以上	128単位 以上	128単位 以上	128単位 以上	128単位 以上	128単位 以上	128単位 以上

備考:小学校教育専修,中学校教育専修及び特別支援教育専修の学生は,この表の教養基礎科目,教育実践コア科目,教職共通科目及び専修専門科目の各欄から,合計124単位以上を修得しなければならない。

Graduate School of Education (Master of Education)

			C	redits Require	d for Graduatio	n
	Requirements	Contents	Human	Special	Education for Subject Matt	
			Education	Needs Education	Fields excluding International Education	International Education
	eral Studies of cation	Classes will be offered for students to synthetically obtain basic theories of education required as a basis for educational practice, considering present educational issues.	4 credits	4 credits	4 credits	_
Course	Contents Studies on Education for Specialized Subject Matter and Field	Classes will be offered for students to familialize themselves with the theories and specialized knowledge of their subject matter and field and to develop their practical and theoretical research skills.	12 credits	12 credits	12 credits	12 credits
Studies	Methodology Studies on Education for Specialized Subject Matter and Field	Classes will be offered for students to familialize themselves with specialized knowledge of educational methodology and techniques in their subject matter and field and to develop their practical and theoretical research skills.	12 Credits	12 Credits	12 credits	12 Credits
Applied Practice Studies	Integrated Studies of Educational Issues	Classes will be offered for students to form their knowledge to design and develop educational practices to respond to present educational issues.	4 credits	4 credits	4 credits	_
tice Studies	Field Studies in Educational Practice	Classes will be offered for students to apply and verify theoretical knowledge in real school situations to develop advanced teaching skills.	4 credits	4 credits	4 credits	_
Inde	ependent Studies	Students are required to conduct a research project based on their individual educational research topics to complete a master thesis.	6 credits	6 credits	6 credits	6 credits
		Optional Studies (Note)	_	_	_	12 credits
		Total Requirements	30 credits	30 credits	30 credits	30 credits

Note: For Optional Studies, students can choose classes freely out of the classes offered for the category of their majoring field.

Graduate School of Education (Professional Degree Course)

		Credits Required for Graduation				
Paguiramento	Contents	Advanced Practice	of School Education			
Requirements	Contents	Advanced Educational Practitioner	Special Teacher Training			
General Studies	Classes will be offered for students to obtain practical and systematic knowledge about five related fields of educational issues in school situations through case studies, etc., and to form fundamental educational skills as teachers who can exercise leadership in practical school situations.	20 credits	20 credits			
Course Studies	Classes will be offered according to the specialty of each course to foster advanced practical abilities of problem-setting and problem-solving through theoretical and practical analyses of educational curriculums in school situations by connecting with Practical Studies.	18 credits	16 credits			
Practical Studies	Classes will be offered for students to integrate theory and practice by verifying and reconstructing the knowledge and skills, etc., in school situations which were obtained as the contents learned in General Studies and Course Studies.	10 credits	12 credits			
	Total Requirements	48 credits	48 credits			

College of Education

				Teache	r Training Co	ourses		
				Credits Re	quired for G	Graduation		
Requirements	Contents	Early	Elementa	ary School Ed	lucation	Lower Secondary	School Education	Special
		Childhood Education	Teaching Practice and School Education Course	Health and Physical Education Course	The Other Courses	Technology Education Course	The Other Courses	Needs Education
Fundamental Studies	The goal is to integrate subject matter previously in studied in high school with new material in University for all core courses such as mathematics, social studies etc. Cross-Disciplinary courses such as Current Social Issues and Communications.	minimum 20 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits
Practical- based Studies	The goal is to develop necessary knowledge and skill for teaching. Subjects such as classroom management, teaching methodology, development of practical teaching skill.	minimum 6 credits	minimum 18 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 12 credits
General Studies	Theoretical and practical subjects of school education	minimum 65 credits	minimum 52 credits	minimum 55 credits	minimum 55 credits	minimum 51 credits	minimum 49 credits	minimum 50 credits
Speciality Studies	Classes dealing with practical skills and educational research	minimum 33 credits	minimum 32 credits	minimum 33 credits	minimum 32 credits	minimum 38 credits	minimum 38 credits	minimum 38 credits
Graduation Study	Students conduct their own research projects concerning various issues in school education, under the supervision of professors.	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits
	Total	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits

Notes: Students in the Elementary School Education, the Lower Secondary School Education, and the Special Needs Education are required to take 124 or more credits in total from Fundamental Studies, Practical-based Studies, General Studies, and Speciality Studies.

大学院学校教育研究科

Graduate School of Education

(平成26年 5 月 1 日現在) (April 1, 2014)

				1	年	次	2	年	次		合	(April	1, 2014) 計
		区分	入学定員	-	1st grade 王学生			2nd grade F 学 生 i		収容定員		Grand Total	
		Courses and Departments	Admission Capacity	Nur	mber of Stud	ents	Nur	mber of Stude	ents	Enrollment Capacity	Nur	E 学生的 mber of Stude	ents
				男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total
		人間形成コース		8	7	15 3	8	9	17		16 1	16 5	32 6
		Human Development		6	2	8	5	4	9		11	6	17
	,	幼年発達支援コース		3	6	9	8	8	16 1		11	14	25 2
	人	Early Childhood Education, Care and Welfare		2	1	3	7	4	11		9	5	14
	間 Tum	現代教育課題総合コース	90	20	4 2	24	22	7	29	180	42	11	53 6
	Human Education	Basic Human Science for Integrated Studies		15	2	17	18	4	22		33	6	39
				2 13	2 29	4 42	17	30	47		30	2 59	4 89
	専	臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology		2	3	5	2	5	7		4	8	12
	攻			44	46	90	55	54	109		99	100	199
		│ │		4	9	13	4	9	13		8	18	26
		Subtotal		23	5 2	28 4	30	12	42		53 2	17	70 4
	#土			4 3	7 2	11 5	5	14	19		9	21	30
修		別支援教育専攻 ecial Needs Education	20		2	2	3	10	13	40	3	12	15
		● 新 変 っ っ っ (园 新)		8	9	17	3	11	14		11	20	31
		言語系コース(国語) Language Education (Japanese)		ı	3	4	2	·					5
				11	9	20	8	15	23		19	24	43
		言語系コース(英語) Language Education (English)			3	3	1	1	2		1	4	5
±	教			6 16	5	11 16	6 18	12 8	18 26		12 34	17 8	29 42
7		社 会 系 コ ー ス Social Science Education		3		3					3		3
Master of Education	科			9 15	3	9 18	13 23	3	16 25		22 38	3 5	25 43
if Educa		自然系コース(数学) Natural Science Education (Mathematics)											
ation				7	1	8	11 9	2	13 11		18 13	3	21 15
課	Educat	自然系コース(理科) Natural Science Education (Science)		2		2	2	1	3		4	1	5
	便 Education for Special		-	2	7	2 8	4	18	4 21		6	25	6 29
	Special	芸術系コース(音楽) Arts Education (Music)	140		2	2		1	1	280		3 1	3 1
	alized Subject Matter a			3	3 6	3	2 7	11 6	13 13		2 10	14 12	16 22
	ıbject N	芸術系コース(美術) Arts Education (Fine Art)			2	2						2	2
程	Natter a		-	1 9	1	2 10	6 21	5 4	11 25		7 30	6	13 35
	and Field	生活・健康系コース (保健体育) Health and Living Sciences Education						1	1		30	1	1
	育	(Health and Physical Education)	-	8	1	9	18 11	3	21		26 17	4	30 20
		生活・健康系コース(技術・工業・情報) Health and Living Sciences Education		1	- 1	1	- 11	1	1		17	1	20
	専	(Technology and Information Education)		4	1	5	7	1	8		11	2	13
		生活・健康系コース(家庭) Health and Living Sciences Education			1	1	1	5	6		1	6	7
		(Home Economics)			1	1	1	4	5		1	5	6
		 国際教育コース		<u>4</u> 1	8	12 1	7	5	12		11	13	24 1
		International Education		2	3	5	6	2	8		8	5	13
		専 攻 計		77 8	45 10	122 18	111	78 6	189 9		188 11	123 16	311 27
		Subtotal		39	16	55	76	1 47	1 123		115	1 63	1 178
				125 15	98	223 36	171	146 18	317		296 22	244 39	540
		修 士 課 程 合 計 Total	250	62	23	85	109	1 69	1 178	500	171	1 92	1 263
				2	2	4	107	<u> </u>	170		2	2	4

		区 分 Courses and Departments	入学定員 Admission Capacity		年 1st grade E 学生弱 nber of Stude			年 2nd grade E 学生词 nber of Stude		収容定員 Enrollment Capacity	Grand Total 在学生数 Number of Students		
			,	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	55,251,	男 Male	女 Female	計 Total
	専門職 学校教育実践事 が 最			10	18	28	13	21	34		23	39	62
毐				10	18	28	13	21	34		23	39	62
P and Advanced Educational Practitioner													
Professional Degree Course			50							100			
ssion 職	of Sch	教員養成特別コース Special Teacher Training	30	5	5	10	6	3	9	100	11	8	19
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	10 美												
egr +	ducat 等												
€ 位	⋾攻												
ours 課				15	23	38	19	24	43		34	47	81
	専門職学位課程合計 程 Total		50	10	18	28	13	21	34	100	23	39	62
柱] 30							100			
				140	121	261	190	170	360		330	291	621
合 計 Grand Total			25	39	64	20	39	59		45	78	123	
		300					1	1	600		1	1	
			62	23	85	109	69	178		171	92	263	
				2	2	4					2	2	4

在学生数

3年以上の現職教員(内数)

14条特例措置者(内数)

学校教員養成プログラム受講者 (内数)

遠隔教育プログラム受講者(内数)

The number in the first column indicates the number of students

The number in the second column indicates the number of students with three years or more teaching experience.

The number in the third column indicates the number of students who are special cases under article 14.

The number in the fourth column indicates the number of students in the school teacher training program.

The number in the fifth column indicates the number of students in the Distance Learning Program.

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)(構成大学として参加)

The Joint Graduate School (Ph. D. Program) in Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education (with the university participating as a constituent school)

(平成26年5月1日現在) (May 1, 2014)

区 分	入学定員	収容定員	在学生数	1 年 1 st g	E次 grade		手次 grade	3年次 3 rd grade	
区 分 courses	Admission Capacity	Enrollment Capacity	Number of Students	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
学校教育実践学専攻 Field of School Instruction	6	18	41(9)	3(2)	3(1)	6(1)	2	14(1)	13(4)
先端課題実践開発専攻 Field of Instructional Development in Forefront Issues	4	12	18(2)	4(1)	2	3	1	5	3(1)
教科教育実践学専攻 Field of Content Area Instruction	14	42	65(12)	9(3)	7(2)	9(3)	6	16(1)	18(3)
合 計 Total	24	72	124(23)	16(6)	12(3)	18(4)	9	35(2)	34(8)

備考:() 内の数は、鳴門教育大学への配属学生数を内数で示す。

The Numbers in parentheses indicate those of students assigned specifically to Naruto University of Education.



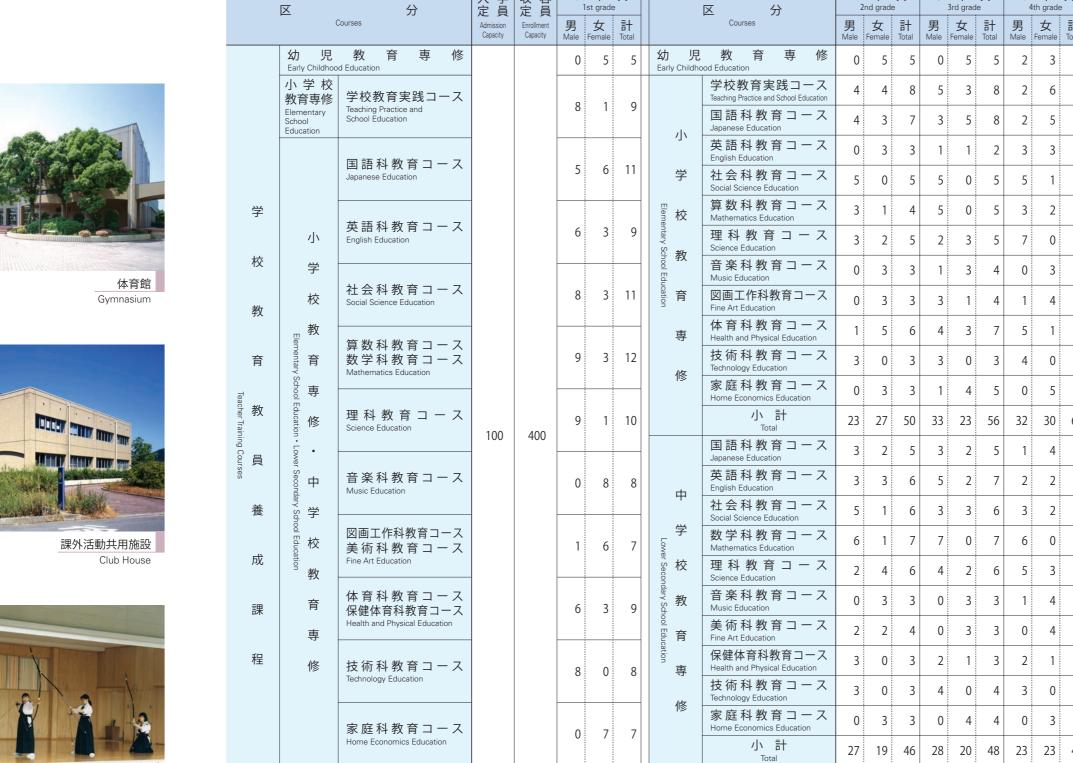
At Campus

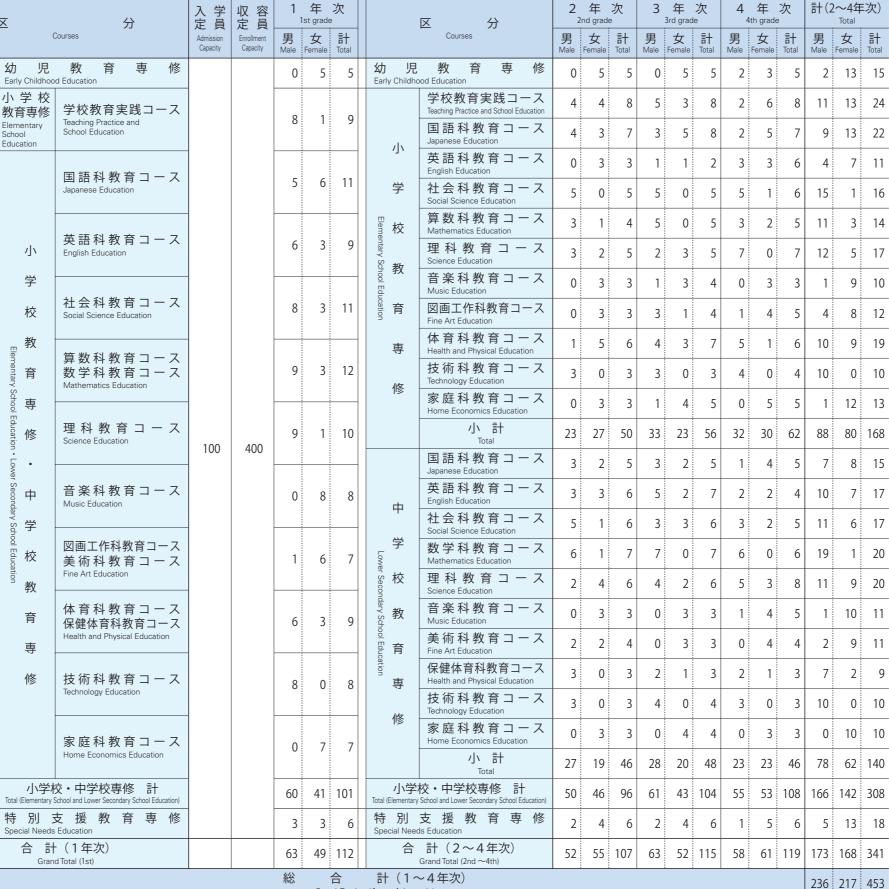


At Campus

学校教育学部 College of Education

(平成26年5月1日現在) (May 1, 2014)







演習風景 Exercise Scenery



At Campus



At Campus



At Campus







28

弓道場 Archery Range

29

Grand Total (1st∼4th grade)



大学院修了者数 The Number of Graduates from the Graduate School

昭和60年度~平成21年度 1985~2009	22年度 ²⁰¹⁰	23年度 ²⁰¹¹	24年度 ²⁰¹²	25年度 ²⁰¹³	累 計 Total
2,004	1	11			2,006
					1,225 33
330		1			331
160					160
					5
					242 197
					8
388					388
343					343
					4
					678 410
					410
3					3
3					3
					58
10					10
221					221
47					47
10					10
85	ļ				85
					55
	01	72	04	76	296
					386 39
					4
6	16	13	22	11	68
2	2	1	1		6
			2		2
4	12	3	14	9	42
					<u>-</u> -
8		15	16	13	66
i i	2	2	2	2	9
44	39	42	42	43	210
4	6	4	ļ <u>6</u>	3	23
277	1.4	0	12	10	375
123	4	3		9	146
6					6
2,535	82	97	109	120	2,943
					1,190
					147 694
	9	8	3		346
28	3	4	2		38
463	12	10	22	18	525
194	1	1	2		198
11	1	1		3	18
				19	549 230
	├ -	<u>∠</u>			230
	16	13	19	19	580
177	3	2	3	3	188
16		3	2	3	26
		21			572
	- 3	<u>!</u>	-		228 17
		5	7	5	23
7	-		¦'		
	2	5	6	5	21
3					206
35	46	47	39	39	
		47 37	39 33	39 28	168
35 33	46 37	37	33	28	168
35 33 14	46 37 12	37	33 11	28 10	168
35 33	46 37	37	33	28	168
35 33 14	46 37 12	37	33 11	28 10	168
35 33 14 14	46 37 12	37 13 13	33 11 11	28 10	168 60 60
35 33 14 14 14	46 37 12 12 11	37 13 13 12 12	33 11 11 8 8	28 10 10 7 7	60 60 49
35 33 14 14 11 11 8	46 37 12 12 11 11	37 13 13 12 12	33 11 11 8 8	28 10 10 7 7	168 60 60 49 49
35 33 14 14 14	46 37 12 12 11	37 13 13 12 12	33 11 11 8 8	28 10 10 7 7	60 60 49 49
35 33 14 14 11 11 8	46 37 12 12 11 11 11 14	37 13 13 12 12 12 12	33 11 11 8 8 8 14	28 10 10 7 7 11	168 60 60 49 49 59
35 33 14 14 11 11 8	46 37 12 12 11 11	37 13 13 12 12	33 11 11 8 8	28 10 10 7 7	168 60 60 49 49
35 33 14 14 11 11 8	46 37 12 12 11 11 11 14	37 13 13 12 12 12 12	33 11 11 8 8 8 14	28 10 10 7 7 11	168 60 60 49 49 59
35 33 14 14 11 11 8	46 37 12 12 11 11 11 14	37 13 13 12 12 12 12	33 11 11 8 8 8 14	28 10 10 7 7 11	168 60 60 49 49 59
	1985 ~ 2009 2,004 1,225 33 330 160 5 242 197 8 388 343 4 6678 410 4 33 33 57 10 221 47 10 85 55 2 62 7 6 22 4 4 44 44 322 123 6 2,535 1,132 94 589 321 28 463 194 11 477 223 26 513 177	1985 ~ 2009 2010 2,004 1 1,225 33 33 33 33 33 33 33 33	1985 ~ 2009 2010 2011	1985 ~ 2009 2010 2011 2012	2004 2016 2011 2012 2013 2013 2023 2013 2024 2015 2025

修了者数
The number in the first colum indicates those who graduate.
経験年数3年以上の現職教員(内数)
The number in the second colum indicates those who have teaching experience longer than three years.

外国人留学生(内数)
The number in the third colum indicates the students from foreign countries.



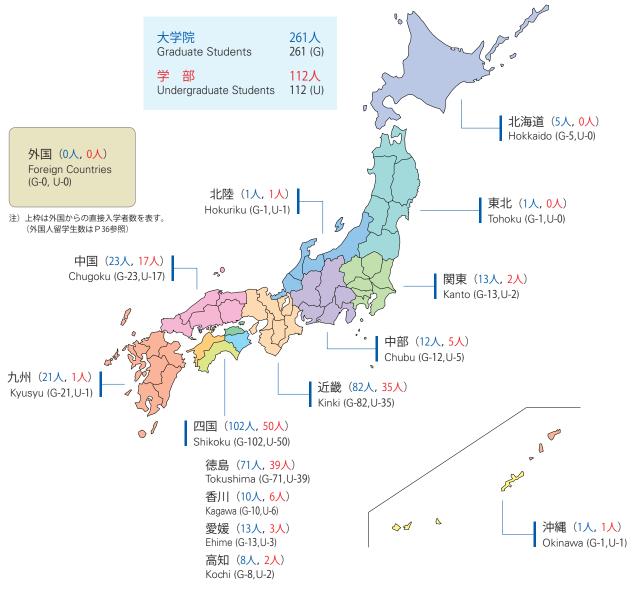
学部卒業者数 The Number of Graduates from the Undergraduate Programs

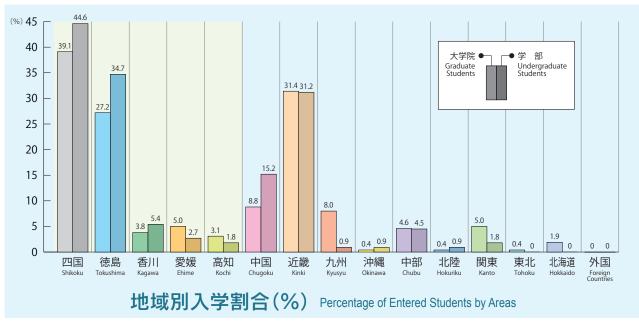
TO COLORS 100 전		[<u>x</u>	分 Courses	元年度~21年度 1989-2009	22年度 2010	23年度 2011	24年度 2012	25年度 2013	累 計 Total
### 변경 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			学 Eleme	校教育專修 ntary School Education	250					250
### 1,500		夏初	幼	児 教 育 専 修	86					86
### 1,500		er Train		言語系(国語科)教育コース	210					210
### 1,500		ing Co	Educ 教	社会系(社会科)教育コース	198					198
### 1,500		mrses fo	ation fo	自然系(算数科)教育コース	184					184
### 1,500		or Kinde	r Special did	自然系(理 科)教育コース	151					151
### 1,500	III	貝 美 argarter	alized S 教	芸術系(音楽科)教育コース Arts Education (Music)	122					122
### 1,500		tand P	育事	芸術系 (図画工作科) 教育コース	100					100
### 1,500		imary s	Matter 修	生活・健康系(体育科)教育コース	131					131
### 1,508		School 程		生活・健康系(家庭科)教育コース	76					76
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	The C			計 Total	1,508					1,508
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	id Cirri				102					102
### 1990-00 Conference 1994 199	iculum				100					100
### 1000		sacher1	社 ź Social	会系(社会科) 教育専攻 Science Education	107					107
### 2000		raining 校	自 氛 Natura	K 系(数学科) 教育専攻 Science Education (Mathematics)	103					103
### 2000		Course 教	Natura	Science Education (Science)	102					102
### 1000	10	is for Lo	Arts E	ducation (Music)	78					78
### 1000	作王	wer Se			81					81
### 1000		condar 成			95					95
程 生活使験外 家 総 計 対 944		y Schoo	生活 Health	·健康系 (技 術 科) 教育専攻 and Living Science Education (Technology)	94					94
### 2,452					82					82
The Name Community Standards 10 10 11 11 11 11 11 1				Total	944					944
### PANNO Community ### Pan				Total	2,452					2,452
新				hildhood Education	41	7	5	5	5	63
新				School Education	54	7	8	10	7	86
## Provided Coloration			小	Japanese Education	55	8	8	9	8	88
新 校			学	English Education	25	2		3	5	38
で		学	Eleme 校	Social Science Education						61
The Name Curroution 日本	新	校	ntary S	Mathematics Education						70
### Proof of the		12	dhoolE	Science Education						54
中		教	奇	Music Education						35
Health and Physical Education 30				Fine Art Education						
Technology Education 家庭科教育コース 25 3 4 4 3 39 39 39 39 3				Health and Physical Education				•		61
程 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	T	eacher: 教	修	Technology Education						
程 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	New (Training		Home Economics Education						
程 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	 Curriculi	Course	中	Japanese Education 英語科教育コース		-				
程	ä		·	English Education 社会科教育コース						65
程		食	ower S	Social Science Education 数学科教育コース						64
Health and Physical Education 1		成	econda Monda	理科教育コース						56
Health and Physical Education 1			my Sch	Science Education 音楽科教育コース				-		40
Realth and Physical Education Realth and Physical Educat		課	ool Edu	Music Education 美術科教育コース						38
Health and Physical Education 1	程	程	.cation	Fine Art Education 保健体育科教育コース						43
Formology Education Sor E Al		,		技術科教育コース						41
Frome Economics Education Frome Economics Education Frome Economics Education From Economics			一门	家庭科教育コース						42
特別支援教育專修 — — — 5 5 10 計 774 114 111 110 112 1 221			障。	害 児 教 育 専 修						48
Special Needs Education			特	別支援教育専修				5		10
Total 111 III IIV IIZ I.ZZ			Specia	計	774	114	111	110	112	1,221
10(a)			合	計						3,673



平成26年度地域別入学状況

The Number of Matriculated Students by Areas in 2014







平成25年度就職状況

Employment of Graduates in Academic Year of 2012

大学院修了者 Graduates from the Graduate School in Academic Year of 2012

(平成25年9月30日現在)

(September 30, 2013)

区 分	修了者数 Graduates from the Graduate Schools	幼稚園 Kindergarten	小学校 Elementary School		就 duates who hol 高等学校 High School	d teaching jobs	者 その他 Others	小 計 Subtotal	教員以外 の就職者 Other Occupation	進学者 Gone on to a higher education	その他 Others
学校教育研究科 Graduate School of Education	191	1(1)	58(34)	29(18)	13(12)	7(4)	7(2)	115(71)	54	3	19

備考:現職教員を除く。() 内の数は、期限付教員を内数で示す。

学部卒業者 Graduates from the Undergraduate Programs in Academic Year of 2012

(平成25年9月30日現在)

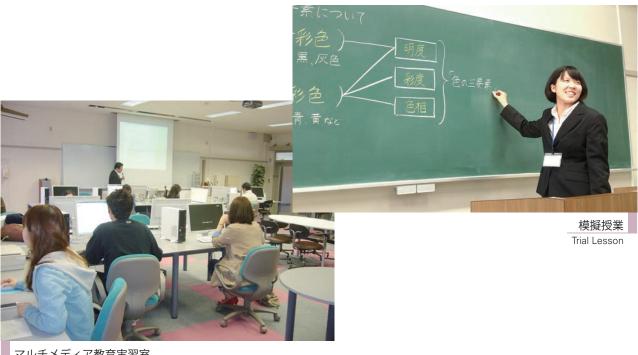
(September 30, 2013)

区 分 Description	卒業者数 Graduates from the Undergraduate Programs	幼稚園 Kindergarten	教 小学校 Elementary School	員 mber of Graduates 中学校 Lower Secondary School	就 職 who hold teaching ju 高等学校 High School	考 特別 支援学校 School for Disabled Children	リ 、計 Subtotal	保育士 Nursery Teacher	教員・保育士 以外の就職者 Other Occupation	進学者 Gone on to a higher education	その他 Others
学校教育学部 College of Education	110	2(1)	49(12)	25(13)	6(4)	1(1)	83(31)	3	5	16	3

備考:()内の数は、期限付教員を内数で示す。

※平成26年3月卒業者及び修了者の就職状況については、平成26年9月30日に確定します。

The employment rate of graduates from our university and graduate school as of March 2014 will be published on September 30, 2014.



マルチメディア教育実習室

Multimedia Education Practice Room

平成26年度予算

(単位:百万円)

区分	金額	区分	金額
収 入		支 出	
運営費交付金	3,617	業務費	4,375
施設整備費補助金	80	教育研究経費	4,375
船舶建造費補助金	0	診療経費	0
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	施設整備費	105
補助金等収入	19	船舶建造費	0
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	補助金等	19
自己収入	743	産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	112
授業料,入学金及び検定料収入	662	貸付金	0
附属病院収入	0	長期借入金償還金	0
財産処分収入	0	国立大学財務・経営センター施設費納付金	0
雑収入	81		
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	112		
長期借入金収入	0		
貸付回収金	0		
承継剰余金	0		
目的積立金取崩	15		
<u> </u>	4,611	計	4,611

[人件費の見積り] 期間中総額3,088百万円を支出する(退職手当は除く)。

[運営費交付金] のうち, 平成26年度当初予算額3,488百万円, 前年度よりの繰越額129百万円。

[施設整備費補助金] のうち, 平成26年度当初予算額0百万円, 前年度よりの繰越額80百万円。



科学研究費助成事業(平成26年度)

Grants-in-Aid for Scientific Research (2014)

平成26年度採択状況(2014)

(平成26年 5 月 1 日現在) (May 1, 2014)

研 究 種 目	申請件数	採択件数	採択率	交付額 Granted Amounts		
Research Areas	Number of Proposals	Number of Accepted Proposals	Acceptance Rate	直接経費 Direct Expenses	間接経費 Indirect Expenses	
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	2	_	_	_	_	
基盤研究(A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)	1	1	100.0	9,500,000	2,850,000	
基盤研究(B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	4	2	50.0	6,100,000	1,830,000	
基盤研究(C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	54	33	61.1	30,950,000	9,285,000	
挑戦的萌芽研究 Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research	3	1	33.3	900,000	270,000	
若手研究(A) Grant-in-Aid for Young Scientists (A)	1	0	0.0	_	_	
若手研究(B) ^(注) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	14	7	50.0	4,600,000	1,380,000	
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	1	1	100.0	400,000	120,000	
小 計 Subtotal	80	45	56.3	52,450,000	15,735,000	
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	6	0	0.0	_	_	
合 Total	86	45	52.3	52,450,000	15,735,000	

^{*}申請件数及び採択件数は、継続分と新規分を合わせた数とする。

^{*}申請件数及び採択件数には、転出者2人を含む。

^{*}新学術領域研究の採択結果は6月下旬となる。

▽ △	土地 (m²)	建物(延面積 m²)	
区 分 Description	上地 (M)	是 彻(延山傾 M)) Building (Total area, m²)	
		人 文 棟 7,2	43
		自然棟 7,5	35
			09
		健康棟 2,5	94
		芸術棟 5,7	42
		Arts Hall 講 義 棟 3,7	19
		Lecture Hall 附属図書館 3,1	38
		University Library 総合学生支援棟(コアステーション) 1,8	33
		General Student Services Building (Core Station) 本 部 棟 2,4	58
		Administration Hall 地域連携センター 2,4	36
学校教育学部	238,208	Center for Collaboration in Community 体育館2,2	74
College of Education	,		05
		Club House 講 堂 1,0	85
		Auditorium 大学会館 1,8	40
		// // // // // // // // // // // // //	26
		Guest House 艇庫	99
		Boathouse 設備棟 5	95
		Maintenance Building 情報基盤センター 4	80
		Center for Information Technology Services 弓 道 場 1	28
		Archery Range その他 7	60
		Others	99
		Total	
学 生 宿 舎		Dormitories	80
Dormitories	26,413	Others	
		Total	
		Residence	
職員宿舍 Residence for faculty and staff	11,754	Others	64
		計 Total	15
		園 舎 8	84
附属幼稚園 University Attached	2,122	そ の 他 Others	0
Kindergarten		= 1	84
		校 舎 5,5 Schoolhouse	75
附属 小学校	22.5		63
University Attached Elementary School	20,373		43
		計 6,6	81
		校 舎 4,8	63
附属中学校		Schoolhouse 体 育 館 1,0	71
University Attached Lower Secondary School	18,002		32
		Others 6,0	66
14 6 样 11 十 福 光 4		Schoolhouse	20
附属特別支援学校 University Attached School for Disabled Children	8,844	Gymnasium	57
ioi Disabled Children		Others ## 4,4	
合 計	225 746	Total	
Grand Total	325,716	82,6	გ5



Humanities Hall



Sciences Hall



Arts Hall



Health Education Hall

International Exchange Programs

大学間交流協定締結校

Agreement of International Academic Exchange

(平成26年5月1日現在) (May 1, 2014)

国 名	大学名	協定締結年月日	国 名	大学名	協定締結年月日
Names of Countries	Names of Universities	Dates of Agreement	Names of Countries	Names of Universities	Dates of Agreement
大 韓 民 国	京 仁 教 育 大 学 校 Gyeongin National University of Education	平成7年5月11日 May 11, 1995	中華人民共和国 China	北京師範大学 Beijing Normal University	平成16年9月27日 September 27, 2004
アメリカ合衆国	ピュージェット・サウンド大学	平成7年7月28日	タ イ 王 国	コンケン大学	平成18年3月6日
United States of America	University of Puget Sound	July 28, 1995	Thailand	Khon Kaen University	March 6, 2006
中華人民共和国 China	南 開 大 学 Nankai University	平成8年5月7日 May 7, 1996		ノースカロライナ大学ウィルミントン校 University of North Carolina at Wilmington	
大 韓 民 国	釜山大学校師範大学·教育大学院 College of Education and Graduate School of Education at Pusan National University	平成11年3月31日 March 31, 1999	アメリカ合衆国 (コンソーシアム) United States of America	イーストカロライナ大学 East Carolina University	平成18年7月7日 July 7, 2006
中華人民共和国	青島大学 Qingdao University	平成12年8月1日 August 1, 2000		ウェスタンカロライナ大学 Western Carolina University	
南アフリカ共和国	プレトリア大学	平成14年7月17日	台	台 北 市 立 大 学	平成22年9月3日
South Africa	University of Pretoria	July 17, 2002	Taiwan	University of Taipei	September 3, 2010
タイ王国	シーナカリンウィロート大学	平成15年6月20日	大	光 州 教 育 大 学 校	平成23年5月23日
Thailand	Srinakharin Wirot University	June 20, 2003	korea	Gwangiu National University of Education	May 23, 2011

協定締結校との学生短期留学状況 The Number of Exchang Students to and from Sisters Universities

区分		F度まで 010	平成2	3年度 ¹¹	平成2	4年度 ¹²	平成2		累	計 tal
Description	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch
京 仁 教 育 大 学 校 Gyeongin National University of Education	31	15							31	15
南 開 大 学 Nankai University	14	12	1						15	12
釜山大学校師範大学・教育大学院 College of Education and Graduate School of Education at Pusan National University	1	1	1						2	1
青島 大 学 Qingdao University	7		2		2		2		13	0
プレトリア大学 University of Pretoria	6	1				1	1		7	2
シーナカリンウィロート大学 Srinakharin Wirot University	9		2		2		2		15	0
北京師 節	3	1							3	1
コンケン大学 Khon Kaen University	6	2	1		2		1		10	2
イーストカロライナ大学 East Carolina University		1		1					0	2
ウェスタンカロライナ大学 Western Carolina University	1	1		1				1	1	3
台 北 市 立 大 学 University of Taipei			1		1		1		3	0

外国人留学生 Foreign Students

(平成26年5月1日現在) (May 1, 2014)

												(1, 2011/
<u>▼</u> Desc	分ription	タイ Thailand	インド ネシア Indonesia	韓国 Korea	中国 China	ラオス Laos	台湾 Taiwan	ネパール Nepal	アメリカ U.S.A.		ホンジュ ラス Honduras	ブラジル Brazil	計 Total
大学院 学 生	博士課程 Doctor's Course				1								1
Graduate Students	修士課程 Master's Course	1			15		1	1	1				19
教員研修 Teacher	多留学生 Trainees		1							1	1	1	4
研究生	大学院 Graduate			1		2							3
Research Students	学 部 Undergraduate				5								5
	講学生 Students	3			2		1						6
	履修生 ing Students												0
合	計 otal	4	1	1	23	2	2	1	1	1	1	1	38

備考:博士課程は本学に配属された兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学生である。



Studying Abroad



地域社会における体育活動に役立てていただくため、昭和62年度から体育施設を開放している。

Some of the university facilities have been opened to people who live in this area since 1987.

開放状況

(平成25年度)

施設名	件数	時間数
テニスコート	32	65
野球場	18	99
体育館(柔道場)	49	100
陸上競技場	9	19

Overview of the Use of the Facilities in Academic Year of 2013

Facilities	Number of uses	Total hours
Tennis courts	32	65
Baseball field	18	99
Gymnasium (Jyudo)	49	100
Athletics field	9	19



福利厚生施設 University Hall and Dormitories

大学会館 **University Hall**

学生及び教職員の福利厚生に資するとともに、学生の課外活動を促進するために大学会館を設置している。

University Hall is established for the convenience and recreation of the students and staff, and for the promotion of the students' extracurricular activities.

階 別 Floor and Total Area	室 名 Name of Provision	室面積 Area	内 Description
1 階 1st floor 延 739m²	第 1 食 堂 1st cafeteria	391m²	朝・昼の食事等(298 席) Serving breakfast and lunch (298 seats).
2 階	売 店 Shop	176m²	書籍・文具類・日用品・食料品・コピーサービス等 Book, stationery, notions, and grocery. Available Photoduplication services.
延 650m²	第 2 食 堂	75m²	予約営業 For banquet
	第 1 集 会 室	35m²	会議・研究会等 For meeting and seminar
3 階	第 2 集 会 室	43m²	音楽鑑賞・会議・研究会等 For music listening, meeting, and seminar
3rd floor 延 405m²	第 3 集 会 室 3rd conference room	77m²	会議・研究会等 For meeting and seminar
第4集会室(和室) 4th conference room (Japanese style)		56m²	茶道・会合等 For tea ceremony and meeting



University Hall

学 生 宿 舎 Dormitories

学生の勉学のための生活環境を提供するために, 学生宿舎を設置している。

Dormitories are available for the convenience of students.

区 Dormitories for	棟 数 No. of Bldgs.	室(戸)数 No. of Rooms	1室(戸)当たり面積 Area/Room	寄宿料(月額) Rental fee (monthly)
単身用学生宿舎(男子) Single men	2	160 室	約 ca 10m²	4,300 ^円 _{yen}
単身用学生宿舎(女子) Single women	3	240室	約 ca 10m²	4,300 円 yen
世帯用学生宿舎	1	40戸	約 40m²	9,500 円 yen
Students with families	1	40 戸	約 ca 52m²	11,900 円 yen

備考:寄宿料は,平成26年4月1日現在



Domitories

37



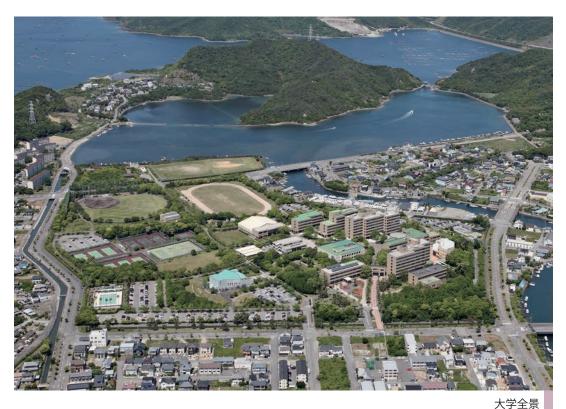
建物配置 Pictorial Overview and Campus Map



- ② 自 然 Sciences Hall
- ③ 技 術 棟 Technical Service Center
- ④ 健 康 棟 Health Education Hall
- Arts Hall
- 6 講 義 棟 Lecture Hall
- ⑦ 附属図書館 University Library
- ⑧ 総合学生支援棟(コアステーション) General Student Services Building (Core Station)
- 9 本 部 棟 Administration Hall
- ⑩ 地域連携センター Center for Collaboration in Community
- ① 体 育 Gymnasium
- 課外活動共用施設
- 13)
- 14 大学会館 University Hall
- ⑤ 学生宿舎 Dormitories
- ⑯ 非常勤講師宿泊施設 Guest House



- ① 艇 庫
- 18 設 備 棟 Maintenance Building
- ⑲ 廃水, 廃液処理施設 Sewerage and Waste Water Disposal
- 20 実験 圃場 Experimental Farm
- ② 情報基盤センター Center for Information Technology Services
- ② 弓 道 場 Archery Range



Aerial View of the Campus

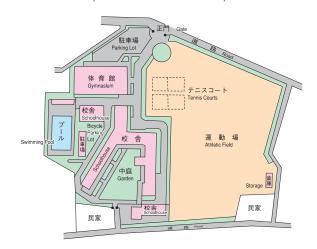
附属幼稚園 · 附属小学校

University Attached Kindergarten and Elementary School



附属中学校

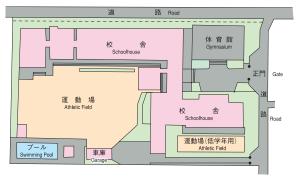
University Attached Lower Secondary School





附属特別支援学校

University Attached School for Disabled Children





University Attached Kindergarten and Elementary School



University Attached Lower Secondary School



附属特別支援学校

University Attached School for Disabled Children



置図

Location



■交通機関 Transportation

飛行機

・東京(羽田)~徳島[約1時間10分] Tokyo (Haneda)-Tokushima

・福岡~徳島 [約1時間30分] Fukuoka-Tokushima [1.5 hours]

鉄道

・岡山~池谷(特急)[約2時間] Okayama-Ikenotani (Express) [2 hours]

・高松~池谷(特急)[約1時間] Takamatsu-Ikenotani (Express) [1 hour]

高速バス

・東京~高速鳴門(夜行)[約9時間] Tokyo-Naruto [9 hours]

・名古屋~高速鳴門 [約4時間30分] Nagoya-Naruto [4.5 hours]

・京都~高速鳴門 [約2時間30分] Kyoto-Naruto [2.5 hours]

・大阪~高速鳴門 [約2時間] Osaka-Naruto [2 hours]

・神戸~高速鳴門 [約1時間30分] Kobe-Naruto [1.5 hours]

フェリー ・和歌山~徳島[約2時間] Wakayama-Tokushima [2 hours]

■徳島阿波おどり空港から From Tokushima Awaodori Airport

空港

「鳴門」行き(20分)

Tokushima bus bound for Naruto (20 min.)

徳島バス「鳴門教育 大学」行き(15分) 鳴門駅

Tokushima bus bound for Narutokyoikudaigaku (15 min.)

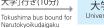


■高速鳴門バス停から From Naruto Expressway Bus Stop



徒歩(5分) Walking (5 min.) 小鳴門橋 Konaruto Bridge

徳島バス「鳴門教育 大学」行き(10分)





■JR池谷駅から From JR Ikenotani Station

池谷駅

J R 鳴門線(15分) JR Naruto Line (15 min.) Naruto Station

鳴門駅

徳島バス「鳴門教育 大学」行き(15分)

大学 University Tokushima bus bound for Narutokyoikudaigaku (15 min.)

■JR徳島駅から From JR Tokushima Station

ウチノ海総合公園

中山トンネル

Nakayama Tunnel

kobe-Awaji-Na Expressway

神戸淡路鳴門自動車道

小鳴門大橋

Konaruto Big Bridge

鳴門競艇

小鳴門橋 Conaruto Bridg

J R鳴門駅

●鳴門市役所

ローソン・

Lowson

鳴門IC

徳島駅

Tokushima Station

徳島バス「鳴門線」 J R 鳴門線(40分)



徳島バス「鳴門教育 鳴門駅 大学」行き(15分)

Tokushima bus Naruto Line or JR Naruto Line (40 min.)

Naruto Station Tokushima bus bound for Narutokyoikudaigaku (15 min.)

徳島バス「鳴門教育大学」行き(50分) Tokushima bus bound for Narutokyoikudaigaku (50 min.)

大学

University

鳴門北IC Naruto-Kita Interchang

高速鳴門バス停

•鳴門中学校



所 在 地

Address of University and Attached Schools

名称		所	在	地	電話番号
事 教 育 学 紹 報 報 報 報 報 育 学 校 教 育 書 タタ ア 要 を と を を と を と を を と を と を と を と を と	〒772-8502	徳島県鳴門市の	鳥門町高島字	≃中島748番地	☎088-687-6000(代表) FAX 088-687-6040
学 生 宿 舎	〒772-0051	徳島県鳴門市県	鳥門町高島字	空中島99番地の7	
附属幼稚園	= 770-0808	徳島県徳島市南	有前川町2丁	- 目11番地の1	☎088-652-2349 FAX 088-625-1995
附 属 小 学 校	〒770-0808	徳島県徳島市南	有前川町1丁	- 目1番地	☎ 088-623-0205(代表) FAX 088-655-6414
附属中学校	〒770-0804	徳島県徳島市中	中吉野町1丁	- 目31番地	☎ 088-622-3852(代表) FAX 088-652-0122
附属特別支援学校	〒770-0803	徳島県徳島市」	上吉野町2丁	目1番地	☎ 088-653-0151(代表) FAX 088-625-1992
職員宿舎	〒772-0022	徳島県鳴門市里	里浦町粟津字	三西開168番地の2	

日本国外から連絡する場合には、国別コード "81" を付けるとともに、市外局番の "0" を取って使用してください。例えば代表番号は81-88-687-6000となります。

Facilities	Address	Phone Number
Administrative Organization Graduate School of Education College of Education University Library Center for Educational Career Development Center for Long-Term Study Student Support Center for Collaboration in Community Center for Information Technology Services Center for the Science of Prevention Education Center for English Language Education at Elementary Schools International Cooperation Center for the Teacher Education and Training Center for Health and Counseling Services	748, Nakajima, Takashima, Naruto-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-8502	Phone 088— 687— 6000 FAX 088— 687— 6040
Dormitories	99-7, Nakajima, Takashima, Naruto-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-0051	
University Attached Kindergarten	2-11-1, Minami-maegawa-cho,Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0808	Phone 088— 652— 2349 FAX 088— 625— 1995
University Attached Elementary School	1-1, Minami-maegawa-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0808	Phone 088— 623— 0205 FAX 088— 655— 6414
University Attached Lower Secondary School	1-31, Naka-yoshino-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0804	Phone 088— 622— 3852 FAX 088— 652— 0122
University Attached School for Disabled Children	2-1, Kami-yoshino-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0803	Phone 088— 653— 0151 FAX 088— 625— 1992
Residence for Faculty and Staff	168-2, Nishibiraki, Awazu, Satoura-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-0022	

When attempting telephone/FAX access to the university from outside of Japan, enter Japan's country code "81" and take "0" out from the city code

out from the city code.
For example, the phone number of the university from overseas is 81-88-687-6000.



>> 学び続ける教員のために

インターネットを用いた遠隔教育による大学院プログラム始動!

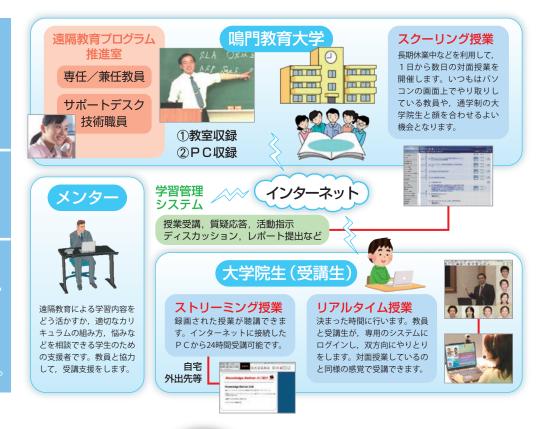
鳴門教育大学では平成26年度に「インターネットを用いた遠隔教育によるプログラム」を大学院学校教育研究科(修士課程)人間教育専攻現代教育課題総合コースに開設しました。

本プログラムは、大学院で学びたいが勤務地を離れることができない現職教員、教育関係者を対象に、教育現場での 多様な教育課題について学べるよう、インターネットを活用した遠隔教育システム(下図参照)による大学院教育を行 うものです。これにより、勤務地を離れることなく大学院において学び、修士の学位と専修免許状の取得が可能となり ます。

パソコンが苦手 な方も, しっか りサポートしま すので, 安心し て学べます。

空き時間に好き な場所で学ぶこ とができます。

大学院での研究 生活については、 一人ひとりに担 当メンターがつ き、あたたかく サポートします。





>> 学生支援のために

総合学生支援棟(コアステーション)オープン!

鳴門教育大学では、平成26年度から敷地内に点在していた学生サービスを一つに集約する場として総合学生支援棟 (コアステーション)をオープンしました。コアステーションには、1階に学生課、就職支援室、2階に教務企画課、 コラボレーションオフィス、長期履修学生支援センター等を配置し、学生の充実したキャンパスライフを支援します。



学生課(1階)/教務企画課(2階)

学生生活における履修・留学・教務及び就職 まで,学生課と教務企画課が集約することで, 幅広い学生生活の案件に対応。快適な生活が 送れるようサポートします。(写真は学生課)



多目的スペース(1階)

開放的空間により、学生の憩いの場 や学習・交流の場として活用できま

平成26年 4月1日



就職支援セミナー室(1階)

模擬授業・面接等の就職支援行事 や学生のグループ学習に利用できま す。

学生セミナー室(2階)

学生が修学できるスペースとして設 置。予約制でゆっくり落ち着いた空 間で学習できます。









教育の一番札所 国立大学法人 鳴門教育大学

「教育の一番札所」

標語は、「教員養成は鳴門から、そして全国へ」という意を込め、本学としての使命と責任を明らかにするため、「教育の一番札所」とした。

発 行 鳴門教育大学経営企画本部

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地 TEL 088-687-6000 FAX 088-687-6040 URL http://www.naruto-u.ac.jp/

Published by Department of Management planning, Naruto University of Education